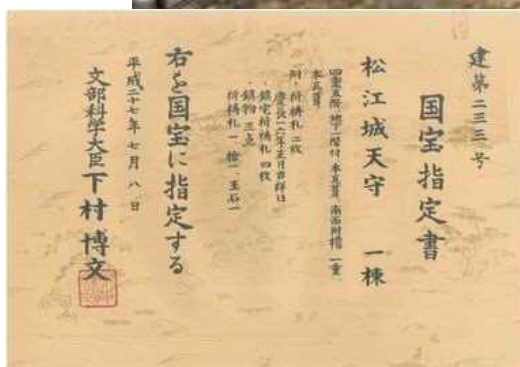


松江 だん だん

創立 10 周年記念会報

【第 8 号 平成 27 年度】



松江城天守国宝に指定
(平成 27 年 7 月)

近 畿 松 江 会

ふるさと松江

作詞 近畿松江会

一 神話は語る

ご縁嬉し

熊野神魂も

だんだん 松江

二 千鳥お城

嫁が島に

松江大橋

だんだん 松江

三 蛭美味し

波に遊ぶ

勾玉湯の町

だんだん 松江

佐陀加賀

八重垣

鎮座して

ふるさと

石垣

茜さす

カラコロと

ふるさと

宍道湖

夕鴨

浴衣がけ

ふるさと

四

牡丹薫る

紫烟けむる

恵比寿シヨコホイ

だんだん 松江

意宇川ほとり

城の稲荷

掛声華やか

だんだん 松江

八束路

中海

五本松

ふるさと

阿陀加夜

神幸祭

ホーランエンヤ

ふるさと

曲は 故郷（ふるさと）作曲 岡野 貞一

うさぎ追いし かの山・・・

※ 近畿松江会では歌詞を募集しています

ご応募は事務局へお問合せください

松江だんだん 近畿松江会 創立 10 周年記念会報
 (会報第 8 号 平成 27 年度)

目 次

表紙題字	・ ・ ・ 近畿松江会 元顧問 和田亮介氏	
会歌「ふるさと松江」	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 作詞 近畿松江会	
目 次	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	1
ご 挨 拶 近畿松江会 会長 伊藤 征治	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	2
松江市長 松浦 正敬	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	4
平成 26 年度事業報告	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	6
平成 26 年度収支決算書	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	7
平成 27 年度事業計画	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	8
平成 27 年度収支予算書	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	9
近畿松江会 平成 27 年度役員名簿	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	10
特 集【創立 10 周年記念総会・懇親会】		
★近畿松江会 10 年の歩み・役員異動年表	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	11
★総会・懇親会式次第・概要	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	19
★総会・懇親会参加者名簿	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	21
★功労者表彰を受賞して (和田亮介・菊田運三郎・小川龍朗・有田嵩・井上隆吉) ・ ・ ・		22
★基調講演「松江の文化資源、小泉八雲 (ラフカディオ・ハーン) を現代に活かす」 小泉 凡先生 (島根県立大学短期大学部 教授) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		27
★創立 10 周年記念総会・懇親会に参加して (感想文) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		31
★寄附金・抽選会景品等寄贈者、団体	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	38
寄稿集 わがふるさと“松江だんだん”	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	39
◆堅町 茂居 理智子 ◆八束町 福屋 篤子 ◆手角町 田部 拓生		
会員名簿 (出身町・中小学校区別)	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	43
会 則	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	47
広 告	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	49
お知らせ・編集後記	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	56
巻末資料：表紙について		

ご挨拶

会長 伊藤征治



会員の皆様にはご健勝にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

去る5月24日、近畿松江会は「創立十周年記念総会」を開催いたしました。それに先立ち5月16日朝刊で松江市民が60数年間待ち望んでいました松江市のシンボル「松江城天守」を天守5例目の国宝に指定するよう答申が出たことは皆様ご存じの通りであります。松江市はもとより私達近畿松江会も極めてタイミングの良い強力な援護を頂きましたが、これは偏に松江市当局関係者の方々のためまぬご尽力の賜物と深甚の敬意を表しますと共にお慶び申し上げる次第であります。

尚、総会は約140名の参会者によりお陰様で盛会裡に行うことが出来ました。

当近畿松江会は、平成17年3月、松江市が近隣7町村との大合併により人口20万の「新松江市」誕生を機に、和田亮介様が長年の懸案であった「近畿松江会」設立に強い思いを致され、同年11月、リーガロイヤルホテルで設立準備委員会を起ち上げ、翌18年2月、第一回発起人会(発起人は10人)を開催、松江市役所をはじめ関係各部署との打ち合わせ等々、当初より大変ご尽力戴き発足した次第であります。十周年記念総会当日は、和田様はじめ数名の発起人の方々、そして故郷松江をこよなく愛しておられます沢山の会員の皆様にご出席戴き、「近畿松江会設立第一回記念総会」の際と同じ新阪急ホテルで開催出来ましたこと、会の運営に携わっております役員を代表致しまして厚く御礼申し上げます。

当日は、故郷松江から松浦市長様はじめ市の関係各部署の方々、更には島根県大阪事務所・島根県人会・京都島根県人会・鹿児島県人会・近畿安来会・近畿いずも会の皆様のご来臨を頂きました。

基調講演は、今回が創立十周年の記念総会でもあることから、皆様ご存じの小泉八雲の曾孫でいらっしやいます小泉凡先生に「松江の文化資源、小泉八雲を現代に活かす」というテーマでご講演戴きました。小泉八雲が関わった世界各地における数々の足跡、オープンマインドで生きる小泉八雲の未来へのまなざし、子どもの五感力育成に八雲を生かす、怪談の資源化をめざす文化

観光等々、小泉先生からでなければお聞きできない内容で、限られた時間をいささか心惜しく感じたことでした。

ご講演の後、懇親会に先立ちまして当会設立当初より今日まで会の草創期に大変ご尽力賜りました5名の方々に松江市より功労者表彰が記念品と共に授与されました。5名の先輩方におかれましては、ご健康にご留意いただき、今後とも私達後輩のご指導、ご鞭撻の程を宜しくお願い申し上げます。

現会員の構成を申し上げますと、我が国情と同様で高齢化している状態は否めないところがあります。私共役員と致しましては、古き良き文化と伝統のある、何よりも人間関係の温かい故郷を共有しております近畿松江会の今後の更なる発展と会員皆様相互の親睦を図り、郷土の発展と活性化に積極的に参加・貢献できますよう、微力ながら注力致したく思っております。

その礎として、年齢層をはじめ多種多様な分野、立場でご活躍中の方々等、老若男女、幅広い会員構成が必要不可欠と思っております。何ぶん時代の要請と言いますか、近年はコンプライアンスの観点等から新会員勧誘には様々な制約が有り難渋しているのが実情でございます。その中で、今回は松江市立女子高同窓会の皆様、松江南高卒業生有志の皆様からまとまったご参加を頂き、本当に嬉しく存じました。厚く御礼を申し上げます。会員の皆様におかれましては、新規にご参加いただける方々の情報が有りましたら、是非とも事務局宛ご一報頂ければと、この点何ぶん宜しくお願い申し上げます。

尚、毎年総会会場においてお茶席を設けて来場者の皆様に心温まるお抹茶のサービスを頂いております苅田運三郎前会長の奥様には、今回も従来と同様にご尽力を戴きました。紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

最後になりましたが当会の益々の発展と、会員の皆様、十周年記念総会にご参加いただきました皆様のご健勝を心よりご祈念を申し上げます。

有難うございました。

近畿松江会の皆さまへ 松江市長 松浦正敬



皆さまこんにちは。先日は、近畿松江会の創立10周年記念総会・懇親会が盛大に開催されましたこと、誠におめでとうございます。思い起こしますと、松江市が合併した時には、「松江人会」は存在しなかったのですが、和田前顧問様を中心とした皆さまのご尽力で設立準備会が発足し、それを契機にたいへんな勢いで盛り上がり、翌年には設立の運びとなりました。設立の年の10月に鑿行列が御堂筋パレードに参加した際には、発起人の皆さまにお世話になるとともに、引き手にも加わっていただくなど、会の発足の盛り上げに花を添えていただいたことを覚えております。私自身、発足準備の段階からいろいろとお話を聞かせていただく機会も多く、非常に思い入れの強い会であります。また、会発足後も菊田顧問様を中心とした皆さまの強いリーダーシップのもと活動内容はますます充実し、10周年という記念すべき日を迎えることができました。設立準備委員会当時から携わってこられた皆さまのご尽力に心から敬意を表すとともに、これからもさらに発展していくことを切にお祈りする次第であります。

さて、ご案内のとおり松江城天守が国宝に指定されました。松江市にとっては60年以上にわたる悲願であり感激もひとしおでございます。国宝実現の決め手は完成年代の分かる祈禱札の発見つつみいたと通し柱による構法や金物を多用した包板の技法など近世城郭最盛期を代表する建築物で極めて高い価値があることが評価されたものです。しかし、何より国宝への後押しになったものは、市内にお住いの方あるいは松江をふるさとにされる方の松江城を愛する強い思いであったことは間違いありません。近畿松江会の皆さまからも国宝化実現に向け、400人を超える方々から署名をいただきました。本当にありがとうございます。これからも国宝のお城があるまちとして、都市の格をさらに上げるべく様々な取り組みを行ってまいりたいと考えております。

また、経済産業省の「暮らしやすさ」ランキングにおいて、松江が全国1,741市町村のトップとなりました。これは生活の利便性の高さや地震発生リスクの低さが高評価につながったものです。本年度は地方創生元年と言われますが、たいへん弾みのつく結果になりました。今後はこの「暮らしやすさ」を積極的にPRしていくことはもちろんのことですが、松江に愛

着を持つ人を育てる「人づくり」にも力を入れていき、住む人が誇りと自信に満ち溢れた素晴らしいまちづくりに向け決意を新たにしましたところでは。

このほかにも、春には尾道松江線の開通やF D A名古屋便の就航、スポーツ界ではテニスの錦織圭選手をはじめとした地元出身選手の活躍、あるいは宍道湖産のシジミの漁獲量が4年ぶりに全国1位に返り咲いたことなど全国からあるいは世界中から非常に注目を集めております。

これからも皆さまのふるさと松江を全力で磨き上げ、さらに魅力あふれるまちにしていきますのでご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

結びに、近畿松江会は10年という節目を迎えましたが、さらに20年、30年に向かって飛躍されるものと大いに期待いたしております。これからも近畿松江会が隆盛を極めますとともに、会員の皆さまのご健康とご多幸を祈念しましてごあいさつとさせていただきます。

「暮らしやすさ」総合日本一

経済産業庁が全国1,741市区町村に対し行なった調査項目22項目中、松江市が次の6項目で全国1位、総合日本一となりました。（公表 平成27年3月30日）

【生活利便性】バス停までの距離	全国平均 0.8km	松江市 0.4km
【働きやすさ】地域の求人倍率	全国平均 1.06倍	松江市 1.20倍
【医療・福祉】病院又は診療所までの距離	全国平均 1.6km	松江市 0.9km
【医療・福祉】高度な救命措置が可能な救命・救急センターまでの所要時間	全国平均 46.9分	松江市 17.5分
【災害】今後30年間に、震度6以上の揺れが生ずる確率	全国平均 15.7%	松江市 0.9%
【ライフスタイル】地域の活動（まちづくり、町内会、PTA活動など）に係わる割合	全国平均 2.5%	松江市 4.1%

平成 26 年 度 事 業 報 告

月 日	曜日	時間	行 事 等 の 内 容	場 所
1月10日	金	18:00	役員会 全国都道府県対抗女子駅伝激励会	加茂川館
1月12日	日	9:00	役員会: 同上応援	西京極陸上競技場
1月4日~17日		11:00	前進座初春公演「一本刀土俵入り」ほか観劇	京都四条南座
1月26日	日	11:00	三林京子出演 中村美津子新春特別公演	大阪新歌舞伎座
2月 8日	金		児童養護施設「双樹学院」支援金募集案内発送	
2月17日	月		平成25年度会計 会計監査	
2月19日	水	18:00	役員会 平成25年度決算報告ほか	大 柝
3月 8日	金		「双樹学院」支援金(H26年度第1回)贈呈	
3月19日	水	18:00	役員会 バスツアー旅程、会費ほか決定	大 柝
3月20日	火		第5回 近畿松江会ゴルフ大会	茨木国際ゴルフ倶楽部
3月29日	土	13:30	雀林遊会〔三林京子(蜘蛛の糸)・桂すずめほか(落語)〕	国立文楽劇場
3月31日	月		故郷訪問バスツアー〔第9回 総会・懇親会〕案内発送	
4月16日	水	18:00	役員会 第9回 総会・懇親会次第決定	大 柝
4月17日	木		第43回近畿島根県市町村人会親睦ゴルフ大会参加	箕面ゴルフ倶楽部
4月25日	金		伊藤会長・井上隆幹事・竹谷事務局長: 松江市訪問	関係機関
5月 7日	水	18:00	臨時役員会 バスツアー参加状況確認、参考資料協議	大 柝
5月21日	木	18:00	役員会 役割分担・行程、総会、懇親会等資料確認	大 柝
5月31日 6月 1日	土 日		故郷訪問バスツアー〔第9回 近畿松江会総会・懇親会〕	美保館 島根半島東部
7月16日	水	18:00	役員会 バスツアー収支報告・反省会	大 柝
8月20日	水	18:00	役員会 会報発行についてほか	大 柝
9月 1日	月		「双樹学院」支援金(H26年度第2回)贈呈	
9月 9日	火		伊藤会長・竹谷事務局長松江市訪問	関係機関・高校
9月17日	水	13:30 16:30	八束学園大阪商人体験地産品販売応援 役員会 会報グラ拝ほか	天神橋商店街3丁目 へそ
9月25日	木	11:30	八雲中学校地産品販売応援	福島聖天商店街
9月29日	月		会報第7号【松江だんだん】発行	
9月30日	日		第6回 近畿松江会ゴルフ大会	茨木国際ゴルフ倶楽部
10月15日	水	18:00	役員会 松江市訪問報告・会報収支報告	大 柝
11月2日	日		近畿島根県人会総会・懇親会	ホテルニューオオタニ
11月5日	水		第44回近畿島根県市町村人会親睦ゴルフ大会	箕面ゴルフ倶楽部
12月2日	火		「双樹学院」支援金(H26年度第3回)贈呈	
〃			平成27年度年会費納付のお願い発送 平成27年度上期行事予定報告	
12月17日	水	17:30	役員会 10周年記念大会の取り組みについて	大 柝

平成26年度 近畿松江会 収支決算書

(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

収入の部

単位：円

科目	予算額	決算額	比較増減	備考
前期繰越金	0	0	0	
年会費	450,000	450,000	0	会員150名
總會費	1,160,000	1,182,000	22,000	ふるさと訪問バスツアー（参加者：34名・懇親会：51名）
寄付金	50,000	0	▲ 50,000	
広告料	200,000	222,000	22,000	全27件
借入金	0	14,466	14,466	竹谷 奨
雑収入	100	54	▲ 46	預金受取利子
合計	1,860,100	1,868,520	8,420	

支出の部

単位：円

科目	予算額	決算額	比較増減	備考
總會費	1,200,000	1,231,512	31,512	ふるさと訪問バスツアー
広告費	43,200	42,600	▲ 600	年賀・暑中見舞い紙上掲載（山陰中央新報社）
通信費	75,000	73,253	▲ 1,747	切手・ハガキ・メール便
印刷費	160,000	161,892	1,892	会報第7号（300部）
事務費	50,000	59,098	9,098	HP接続料、封筒、宛名ラベル紙ほか
旅費	40,000	19,000	▲ 21,000	松江市訪問（竹谷事務局長）
雑費	50,000	43,610	▲ 6,390	松江市訪問土産代、市町村対抗ゴルフ飲物代（2回）他
予備費	30,805	27,500	▲ 3,305	女子駅伝祝儀 開星高校甲子園出場寄附 八束学園激励
事業費	30,000	30,000	0	ゴルフ同好会賛助金
払込負担金	19,500	18,460	▲ 1,040	会費、広告費等郵便局払込手数料
借入金返済	161,595	161,595	0	
次期繰越金	0	0	0	
合計	1,860,100	1,868,520	8,420	

監査の結果、正確に処理、記載されていることを認めます。

平成 27年 2月 18日

監 事 木 幡 泰 三 印

監 事 佐 藤 徹 志 印

平成 27 年 度 事 業 計 画

月 日	曜日	時間	行 事 等 の 内 容	場 所
1月9日	金	18:00	役員会 全国都道府県対抗女子駅伝激励会	加茂川館
1月11日	日	9:00	役員会:同上応援	西京極陸上競技場
1月10日~19日			前進座初春公演「薄桜記」観劇	京都四条南座
2月 9日	金		児童養護施設「双樹学院」支援金募集案内発送	
2月17日	火		平成26年度会計 会計監査	
2月18日	水	18:00	役員会 平成26年度決算報告・平成27年度収支計画ほか	大 柝
2月20日	金		伊藤会長・竹谷事務局長松江市訪問	関係機関
			「双樹学院」支援金(H27年度第1回)贈呈	
3月18日	水	18:00	役員会 10周年記念総会・懇親会 招待者・会費ほか決定	大 柝
3月20日	金		第7回 近畿松江会ゴルフ大会	茨木国際ゴルフ倶楽部
3月下旬			創立10周年記念総会・懇親会案内状発送	
4月16日	木		第45回近畿島根県市町村人会親睦ゴルフ大会参加	箕面ゴルフ倶楽部
4月22日	水	18:00	役員会 記念総会・懇親会 参加状況確認・資料協議	大 柝
5月20日	水	18:00	役員会 記念総会・懇親会 役割分担等確認	大 柝
5月24日	日	11:00	創立10周年記念総会・懇親会	新阪急ホテル
以降毎月	第3水		役員会	
8月18日	火		「双樹学院」支援金(H27年度第2回)贈呈	
9月15日	火	13:30	八束学園大阪商人体験地産品販売応援	天神橋商店街3丁目
9月30日	火		第8回 近畿松江会ゴルフ大会	茨木国際ゴルフ倶楽部
10月4日	日		「雀林遊会」桂すずめ(三林京子)落語会	国立文楽劇場
10月初旬			創立10周年記念会報【第8号松江だんだん】発行	
11月11日	水		第46回近畿島根県市町村人会親睦ゴルフ大会	箕面ゴルフ倶楽部
11月15日	日		近畿島根県人会総会・懇親会	ホテルニューオオタニ
12月初旬			平成28年度年会費納付のお願い発送 平成28年度上期行事予定報告 「双樹学院」支援金(H27年度第3回)贈呈	

平成27年度 近畿松江会 収支予算書

(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

収入の部

単位：円

科目	26年度決算額	27年度予算額	比較増減	備考
前期繰越金	0	0	0	
年会費	450,000	465,000	15,000	155名×3,000円=465,000円
総会費	1,182,000	936,000	▲ 246,000	総会・懇親会125名
寄付金	0	240,000	240,000	
広告費	222,000	200,000	▲ 22,000	
借入金	14,466			
雑収入	54	100	46	受取利子
合計	1,868,520	1,841,100	▲ 27,420	

支出の部

単位：円

科目	26年度決算額	27年度予算額	比較増減	備考
総会費	1,231,512	1,350,000	118,488	126名
広告費	42,600	43,200	600	年賀・暑中見舞広告(山陰中央新報社)
通信費	73,253	80,000	6,747	案内状・会報発送費等
印刷費	161,892	165,000	3,108	機関紙発行等
事務費	59,098	60,000	902	HP接続料等
旅費	19,000	20,000	1,000	松江市訪問
雑費	43,610	45,000	1,390	松江市訪問手土産等
予備費	27,500	13,434	▲ 14,066	女子駅伝・修学旅行激励等
事業費	30,000	30,000	0	ゴルフ同好会助成金
払込料金負担	18,460	20,000	1,540	
借入金返済	161,595	14,466	▲ 147,129	
次期繰越金	0			
合計	1,868,520	1,841,100	▲ 27,420	

平成27年度 役員名簿 新役員

顧問	荻田運三郎 (雑賀町・雑賀小学校)
会長	伊藤 征治 (北堀町・北堀小学校)
副会長	小川 龍朗 (島根町・加賀小学校)
副会長	有田 嵩 (宍道町・宍道小学校)
幹事長兼事務局長	竹谷 奨 (八束町・八束小学校)
副幹事長	井上 芳子 (石橋町・北堀小学校)
副事務局長	内部 茂 (東朝日町・中央小学校)
常任幹事 (ゴルフ担当)	井上 隆吉 (上東川津町・川津小学校)
常任幹事 (地域担当)	押田 良樹 (大庭町・雑賀小学校)
常任幹事 (地域担当)	木村 恵吉 (雑賀町・雑賀小学校)
常任幹事 (地域担当)	木村八重子 (東本町・母衣小学校)
常任幹事 (地域担当)	武田 貞雄 (雑賀町・雑賀小学校)
常任幹事 (地域担当)	渡辺 悟 (北田町・付属小学校)
常任幹事 (地域担当)	田中 裕子 (石橋町・北堀小学校)
常任幹事 (地域担当)	鶴羽 孝子 (西持田町・持田小学校)
常任幹事 (広報担当)	松本 耕司 (上本庄町・本庄小学校)
常任幹事 (広報担当)	茂居理智子 (堅 町・雑賀小学校)
監事	木原 貢 (宍道町・宍道小学校)
監事	佐藤 徹志 (飯南町・現雲南市)

近畿松江会 10年の歩み 『設立準備～創立10周年記念総会・懇親会』

平成17年(2005年)

11月2日

- ・**設立準備委員会** 於：リーガロイヤルホテル
島根県人会会長 和田亮介氏の肝いりで発起人の選出を協議

平成18年(2006年)

2月14日

- ・**第1回発起人会** 於：料亭「芝苑」
発起人10人(職域・敬称略)により会長に長谷川吉雄氏を事務局長に菟田運三郎氏を指名 会員100名を目標に努力を誓う
和田亮介・篠崎治・長谷川吉雄・菟田運三郎・有田嵩・竹澤博幸・山本雅昭
小川龍朗・福原耕一・後藤守弘

4月4日

- ・**第2回発起人会** 於：島根県大阪事務所2階会議室
事務局実務の具体的推進事案を協議
和田亮介・長谷川吉雄・菟田運三郎・福原島根県大阪事務所長・後藤同課長

4月18日

- ・**第3回発起人会** 於：島根県大阪事務所3階会議室
事務局実践活動の推進、会員加入進捗状況の把握、松江市当局並びに関係団体への支援要請事項の精査について協議

7月24日～26日

- ・松江市および関係団体訪問挨拶と設立の協力お願い行脚(長谷川吉雄・菟田運三郎)
松江市・同7支所・松江商工会議所・松江観光協会・山陰新報本社・他10団体

8月8日

- ・**第4回発起人会** 於：島根県大阪事務所3階会議室
平田山陰中央新報大阪支社長を招聘し創立総会PRを協議

10月8日

・**鞆山車台 大阪御堂筋パレードに参加**

石橋三丁目鞆保存会・北堀町三区鞆宮保存会・東本町一丁目鞆保存会の3保存会が大阪二十一世紀協会主催の御堂筋パレードに参加。三・三キロを当会の長谷川会長ほか慈恵学園の子供達と氣息を合せ、共に綱を引く



10月22日

・**設立総会・懇親会** 於：大阪新阪急ホテル「月・星の間」

会員91名 来賓31名 関の五本松節保存会ご一行

会則の制定・長谷川吉雄会長ほか17名の役員承認

※『ふるさと情報発信へ「近畿松江会」設立』山陰中央新報に記事掲載



平成19年(2007年)

10月7日

・**第2回総会・懇親会** 於：ホテル阪神 ザ・ボールルーム

会員62名 来賓15名 島芝翫節保存会ご一行



平成20年(2008年)

5月11日

・**第3回総会・懇親会** 於：ホテル阪神 ザ・ボールルーム

会員75名 来賓21名 亀尾神能保存会ご一行

・**会報第1号発行**

NHK朝ドラ松江発「だんだん」9月29日から放映

9月22日

・**八束中学校 大阪商人体験 地元産品販売・観光PR 応援(第1回)**

於：天神橋商店街



※役員意志疎通を図るため「三水会」と命名し概ね月に1回会合を持つこととした

平成21年(2009年)

1月17日

- ・役員会 於：京都祇園「ゆう」

第2代会長に菟田運三郎氏を推挙 後、総会承認まで会長代行として職務

5月15日

・第1回「故郷訪問バスツアー」

第4回総会・懇親会 総会 於：松江市役所3階会議室

懇親会 於：美保関「なべや別館」

会員・会友73名 来賓9名 関の五本松節保存会ご一行

当初会則を全文改正・菟田会長ほか13名の新役員承認



5月16日

- ・日本三大船神事 松江城山稻荷神社式年神幸祭「ホーランエンヤ」観覧

松江大橋沿北側特別棧敷 会員・会友80名 京都島根県人会ご一行

9月17日

- ・八東中学校 大阪商人体験 地元産品販売・観光PR 応援(第2回)

於：天神橋商店街

9月30日

- ・会報第2号発行

“ホーランエンヤ”観覧記

平成22年(2010年)

1月8日

- ・皇后杯第28回全国都道府県対抗女子駅伝 島根県チームを激励

京都島根県人会主催の激励会に役員有志初参加 縁結びストラップと激励金を贈呈

1月10日

- ・同駅伝応援 京都西京極競技場、沿道にて応援

5月9日

- ・第5回総会・懇親会 於：ホテル阪神 ザ・ボールルーム

会員・会友72名 来賓・ゲスト27名

名誉会員加入(白木みのる・三林京子)

国指定重要無形民俗文化財「佐陀神能」ご一行
ソプラノ歌手 下垣真希 ミニコンサート
会則第2条 【会員】を【会員・名誉会員】へ改正



9月22日

- ・八束中学校 大阪商人体験 地元産品販売・観光PR 応援（第3回）
於：天神橋商店街

9月30日

- ・会報第3号発行

会報【松江だんだん】（名称を会員より募集）として発行

会員による出身地リレー寄稿集“松江だんだん”開始
会員名簿を出身小・中学校別にあらためる

松江だんだん

題字 和田亮介氏

※映画「RAILWAYS」（監督：錦織良成、主演：中井貴一）が5月29日（土）から全国ロードショー上映・観賞券仲介

平成23年（2011年）

6月4日

- ・第2回「故郷訪問バスツアー」

第6回総会・懇親会 於：ホテル一畑 梅の間・サンシャインホール

会員・会友56名 来賓・ゲスト33名
美女舞姫隊の歌と踊・イケメン若武者隊
の合戦絵巻ご一行



6月5日

- ・出雲大社参拝（正式参拝・大屋根改修見学）
or 松江歴史館見学、付近散策



9月21日

- ・八束学園（1月に八束小学校・中学校より小中一貫校として開校）

大阪商人体験 地元産品販売・観光PR 応援（第4回） 於：天神橋商店街

9月30日

- ・会報第4号発行

“ふるさと訪問バスツアー”感想文

※皇后杯第29回全国都道府県対抗女子駅伝 島根県チームを激励（2年目）

※3月 東日本大震災義援金および物資を募る

平成24年（2012年）

9月19日

- ・八束学園 大阪商人体験 牡丹ほか販売・観光PR 応援（第5回）

於：天神橋商店街

9月30日

- ・会報第5号発行

“山陰古事記の旅”感想文

“松江城を国宝に”運動で創建当時の棟札（祈禱札）が発見される

11月18日

- ・第7回総会 於：松下IMPビル5階 G室

※近畿島根県人会創立50周年記念行事に合せ総会のみ開催

※皇后杯第30回全国都道府県対抗女子駅伝 島根県チームを激励（3年目）

※児童養護施設「双樹学院」へ学用品、支援金を贈呈（初年度）7月：同院訪問

※新事業として親睦ゴルフ大会を設置（9月）



平成25年(2013年)

6月2日

- ・第8回総会・懇親会 於：大阪新阪急ホテル 2階 花の間
会員・会友76名 来賓12名 松江城 姉さま鉄炮隊ご一行
蒯田会長の後任に第三代会長として伊藤征治氏を選出



9月19日

- ・八束学園 大阪商人体験 牡丹ほか販売・観光PR 応援(第6回)
於：天神橋商店街

9月30日

- ・会報第6号発行
まつえ産業支援センター開設の報告
※皇后杯第31回全国都道府県対抗女子駅伝 島根県チームを激励(4年目)
※児童養護施設「双樹学院」へ支援金を贈呈(2年目)

平成26年(2014年)

5月31日

- ・第3回「故郷訪問バスツアー」
第1日目 加賀の潜戸・美保神社



第9回総会・懇親会 於：美保館

- 会員・会友56名 来賓・ゲスト21名 関の五本松節保存会ご一行
特別講演 松江観光協会観光文化プロデューサー 高橋一清氏
「松江のたからもの」
会報第7号に概要掲載

6月5日

・第2日目 美保関灯台・枕木山・八雲本陣



9月17日

・八束学園 大阪商人体験 牡丹ほか販売・観光PR 応援（第7回）

於：天神橋商店街

9月25日

・八雲中学校 地産品販売 応援 於：福島聖天商店街

9月30日

・会報第7号発行

“ふるさと訪問バスツアー”に参加して

※皇后杯第32回全国都道府県対抗女子駅伝 島根県チームを激励（5年目）

※児童養護施設「双樹学院」へ支援金を贈呈（3年目）

平成27年（2015年）

5月15日

・松江城天守 国宝に答申 . . . 7月8日国宝に指定

5月24日

・創立10周年記念総会・懇親会 於：大阪新阪急ホテル 2階 花の間

会員・会友105名 来賓33名

基調講演 小泉 凡^{こいずみ ぼん}（島根県立大学短期大学部教授・小泉八雲記念館顧問ほか）

「松江の文化資源、小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）を現代に活かす」

概要：P-27～30参照

※皇后杯第33回全国都道府県対抗女子駅伝 島根県チームを激励（6年目）

※児童養護施設「双樹学院」へ支援金を贈呈（4年目）

近畿松江会役員10年の記録

(平成21年5月15日の会則改訂時に役職を整理)

ご協力、有り難うございました。今後ともよろしく願いいたします。

役職	氏名	H18 (2006)	H19 (2007)	H20 (2008)	H21 (2009)	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	
会長	長谷川 吉雄	初代会長										
	荊田 運三郎	事務局長			二代会長			顧問				
	伊藤 征治						常任幹事		三代会長			
顧問	和田 亮介	顧問										
相談役	篠崎 治	相談役										
	山本 洋	副会長			相談役							
	伊藤 雅義	副会長	監事		相談役							
副会長	小川 龍朗	副会長										
	有田 嵩	幹事長						副会長				
	山本 雅昭	副会長										
	吉岡 正勝	副会長										
	石倉 文行	副会長										
	青戸 俊夫	副会長										
	福原 耕一	副会長										
	後藤 守弘	副会長										
幹事長 事務局長	木村八重子				副会長			常任幹事				
	竹谷 奨	副会長			事務局長			幹事長兼事務局長				
副幹事長	澄川 光成	副会長			副幹事長							
	井上 芳子					常任幹事		副幹事長				
副事務局長	内部 茂							常任幹事	副事務局長			
常任幹事	松本 耕司				常任幹事							
	井上 隆吉				常任幹事							
	押田 良樹				常任幹事							
	木村 恵吉				常任幹事							
	中村 博行					常任幹事						
	武田 貞雄					常任幹事						
	渡辺 悟							常任幹事				
	鶴羽 孝子								常任幹事			
	茂居理智子										常任幹事	
	田中 裕子										常任幹事	
幹事	千葉 潮			副会長	幹事							
監事	木幡 泰三	副会長			監事							
	木原 貢										監事	
		竹澤博幸			杉原伸治	達山 暢	糸川孝一	井田 満	佐藤徹志			
役員数	18	17	17	13	14	17	18	16	17	19		

↑
役員承認

↑
会報発行 会則改正 会則改正

↑
10周年

近畿松江会

創立10周年記念大会

と き 5月24日(日) 11時より
受付10:00より

会 場 新阪急ホテル 2階 花の間

会 費 会員8,000円 同伴者ほか：6,000円

同伴者ほか：会員の家族・会員の知人、友人・会員外の在松江高校同窓会会員・県人会、市町村人会会員

基調講演 小泉 凡(こいずみ ぼん)先生
テーマ「松江の文化資源、小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)を現代に活かす」



島根県立大学短期大学部教授・小泉八雲記念館顧問・焼津小泉八雲記念館名誉館長
1961年東京生まれ。成城大学・同大学院で民俗学を専攻後、1987年に松江へ赴任
文化資源を発掘し観光に生かす実践研究や子どもの五感力育成をめざすプロジェクト
「子ども塾」で塾長として活動

主著に 『民俗学者・小泉八雲』(恒文社、1995年)2014年)
『文学アルバム小泉八雲』(共著、恒文社、2000年)
『怪談四代記—八雲のいたずら』(講談社、2014年)ほか

小泉八雲の直系のひ孫にあたる



近畿松江会は平成18年10月に松江市から市長様はじめ31名のご来賓と91名の会員が集った設立総会からおかげさまで10周年を迎えました
今回は記念大会と言うこともあり、近畿一円の関係団体さらにふるさと会や同窓会などから大勢のゲストをお迎えしたいと願っています
当会会則は「本会の会員は、近畿地区及びその近接地に在住する松江市域出身者並びに縁故のある者とする」としています
松江に縁のある方、松江出身者に縁のある方など交流の輪をさらに広げる場をご提供します **名誉会員 三林京子(桂すずめ)さん**もご来場!!
【刳田顧問の奥様・お弟子様による『お抹茶』の接待:だんだん】

お誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください

牡丹薫る会場でまっちゃんを楽しもう! 参加者全員に松江産品が当たるお楽しみ抽選会もあるよ!



主催

近畿松江会 大阪市天王寺区玉造元町2-34
お問い合わせ 竹谷 090-3054-9159

後援

国際文化観光都市 水の都 松江市

10周年記念総会・懇親会出席者名簿 全138名

一 来賓 33名

松江市長	松浦正敬	京都島根県人会	会長	林邦幸
松江州市議会議長	山本勝太郎	京都島根県人会	副会長	下田弘子
松江市政策部長	星野芳伸	京都島根県人会	常任幹事	渡邊憲治
松江市産業観光部長	矢野正紀	京都島根県人会	幹事	西田陽子
松江市観光事業部長	錦織裕司	京都島根県人会	事務局次長	下田陽子
松江市市民部長	田中哲也	鹿児島県人会		野元勝茂
松江市健康福祉部長	井田克己	近畿安来会	会長	細田本伸
松江州市議会事務局次長	遠田雅輝	近畿安来会	幹事長	山有本高
松江市政策部秘書広報課長	藤原雅輝	宍道会	会長	山有本高
(一社)松江観光協会	内田敏夫	近畿いずも会	副会長	鳥屋尾勇志
常務理事	森秀雄	山陰合同銀行大阪支店	支店長	佐藤徹
松江商工会議所	顧問	山陰中央新報大阪支社	支社長	赤井真一郎
近畿島根県人会	顧問	近畿双松会	会長	松本耕司
近畿島根県人会	会長	振商会近畿支部	支部長	松尾年浩
島根県大阪事務所	所長	工窓会近畿支部	副会長	三澤正
		工窓会近畿支部	副会長	竹内喜次
		工窓会近畿支部	副会長	福川路子
講演者 島根県立大学短期大学部	小泉凡	松江女子高同窓会	関西支部長	田中裕子

一 会員 68名

青池俊夫 (東生馬町)	足立秀之 (大草町)	荒銀昌治 (安来市)		
井上伸和 (宍道町)	伊藤雅子 (宍道町)	伊藤上隆 (北堀町)		
今井憲久 (上東川津町)	井上芳子 (石橋町)	梅本隆志 (上東川津町)		
大浦綾子 (西川津町)	堀裕子 (浜乃木)	岡本由美 (美保関町)		
小川龍朗 (北田町)	小川ますみ (内中原町)	押田良樹 (横浜町)		
小田美朗 (島根町)	小高久始 (京都市)	面白幸夫 (本庄町)		
折坂栄久 (堂形町)	門脇基三 (八束町)	田運三郎 (八束町)		
神谷紀男 (上乃木)	木島光子 (呉市)	木原貢子 (浜乃木)		
川原ひろ吉 (八束町)	木村八重子 (枕木町)	小松砂知子 (宍道町)		
木村恵正 (雑賀町)	阪本浩吉 (東本町)	月禧暉子 (鹿島町)		
木幡早智子 (宍道町)	篠木良子 (宍道町)	清水貞雄 (石橋町)		
澄川光成 (雑賀町)	曾田農子 (西尾町)	武田部拓生 (雑賀町)		
竹谷久行 (八束町)	鶴羽孝子 (宍道町)	永瀬光一郎 (本庄町)		
田村博篤 (石橋町)	長谷川美子 (西持田町)	長谷川忠雄 (米子町)		
中屋篤育 (新町)	藤坂芳樹 (玉湯町)	松本幸子 (灘町)		
福松本治 (八束町)	松居理智子 (西津田町)	光田仁洋 (南田町)		
村尾俊幸 (本庄町)	茂山和子 (上本庄町)	森廣一 (宍道町)		
安島幸紀 (東朝日町)	山内和美子 (上乃木)	山和邦孝 (本庄町)		
山渡辺悟 (和田見町)	山崎里美子 (石橋町)	和田邦孝 (石橋町)		
				(東長江町)

一 友 37名

安岩倍保明 (本庄町)	池田喜美代 (石橋町)	伊藤春美 (大庭町)		
崎濱潤子 (石橋町)	大石純一 (宍道町)	大加藤卓也 (合同銀行)		
大門脇緑 (手角町)	勝菊子 (石橋町)	北浦和瑛 (東出雲町)		
楠本範子 (八束町)	小松香子 (雲南市)	小杉浦一 (岩見沢市)		
近藤康介 (和歌山)	柴田正尚子 (明石市)	田中康子 (明石市)		
瀬戸二三子 (合同銀行)	竹下晁浩子 (宝塚市)	成山正子 (古志原町)		
内藤みよ子 (手角町)	中曾原美奈子 (玉湯町)	益田由美子 (和田見町)		
樋野博美 (鹿島町)	藤松本上 (中原町)	宮本由美子 (古志原町)		
松本多美 (上本庄町)	森吉 (隠岐)	守田宣昭 (本庄町)		
村田哲章 (隠岐)		脇田健晶 (本庄町)		
森田哲子 (広瀬町)				(萩市)
				(大阪市)

功 勞 感 謝 状 を 受 賞 し て



写真右より

小川 龍 朗 (島 根 町)
和田 亮 介 (宍 道 町)
荻田 運三郎 (浜 乃 木)
有 田 嵩 (宍 道 町)
井 上 隆 吉 (上東川津町)

小 川 龍 朗 [副会長]



思いつくままに

近畿松江会 10 周年記念大会で、功労者表彰に選任頂き有り難うございました。松浦松江市長を始め会員の皆様方のご推挙に、誌上を借りて改めてお礼を申し上げます。

図らずも、近畿松江会の発起人の一人として会を立ち上げてから、早いもので 10 年が過ぎたのですね。

当初は、個性（我と誇り）の強い松江人氣質の集団、それぞれの思惑も絡みスムーズにいくかどうか、と若干危惧もしていましたが、そこは協調性も併せ持つお国柄、時の経つ間もなく現在のアットホーム的な組織に見事進化しました。その頃の存続の危機の裏話は、改めて 20 周年大会頃にお話しましょう、

いま振り返って、ひと口で言えば、“感無量” のひと言でしょう。

県人会活動の事業面では、事務局担当の面々の対応も当を得たもので、遊び感覚での NHK 朝ドラ「だんだん」の主演俳優たちとの楽しかった交流。12 年に一度の日本三大船神事「ホーランエンヤ」観覧、「ふるさと訪問バスツアー」などと、生れ故郷の再発見の企画。感激！感謝！！、お世話様でした。

このところ、新しくそうそうたる役員が増えました。マンネリに慣れず新しい発想を試みましょう。

“故郷は遠くにありて想うもの・・・”、それはそれで良しとして、“故郷は近くにありて創るもの・・・”と提起します。つむじ曲がりの屁理屈、ご免なさい。

合縁奇縁と申しますが、近畿圏で生活の場を共有する組織の絆を大切に、故郷松江をこよなく想う同志が集う近畿松江会、併せて松江市の更なる発展を祈念しながら思いのままを述べました。

最後に近畿松江会設立の提案者でもあり、あらゆる面で助力下さった前顧問、和田亮介畏兄に深甚なる敬意を表してお礼を申し上げます。

それでは皆様、重ねてだんだん有り難うございました。

思いつくままに・・・。

功労感謝状を受賞して

和田 亮介 (元顧問)



近畿松江会を創った男

この、5月24日、「近畿松江会」の創立10周年大会が開かれた。

大阪は梅田、新阪急ホテルの会場に集まったのは、伊藤征治会長をはじめとする130名を超える人たちである。予想外の盛況だった。

式も半ば、5名の古手会員が呼び出され、松江市長の松浦正敬氏から表彰を受けた。受賞者5名を代表して、この私に謝辞を述べよとの司会者の声。柄にもなく、マイクを握った手が震える。

「せつかくのご指名に異を唱えるのは失礼ですが、私が代表して挨拶申すのは本来間違いです。マイクを握るべきは荏田運三郎君、私の後ろでこやかに笑っている男です。」

私と同じ昭和6年生まれ、松江中学の同期ですが、彼は松江会の創設が発議された時、いち早く手を挙げ、今日まで、わが子のようにこの会を育ててきました。毎月必ずバスで松江へ帰り、市長はじめ要職の方々との人間関係を深め、松江の諸行事にも顔を出さぬことはありませんでした。

このたびの松江城の国宝が叶った時、テレビの前で万歳を叫び、涙を流したと聞きました。



ここまでの故郷を思う運三郎君が出来上がったのは、実は彼一人の力ではありません。陰で支えた人がいたのです。奥さんのチエミさんがその人です。

チエミさんは人も知る裏千家の茶の宗匠です。運三郎君が2代目の松江会の会長となつて以来、年1回の総会の時、必ず会場に茶席を設け、来会者に茶を呈したのです。ご承知かどうか、彼

には茶の心得はまったくありません。しかし、お茶どころの松江会にふさわしいこのお茶席が、2代目会長に文化的風格をもたらしたことは疑いをいれません。本日も会場にお茶席が設けられ、皆様は松平不昧公の雰囲気を感じられたにちがひありません。

今は顧問に退いていますが、会長在籍丸6年、私はこの松江会が荏田夫妻の情熱と努力によって創られたことを、いさかも疑いません。付け加えるなら、故郷松江には、今や彼を村長にいたたく「隠居村」があり、年1回「隠居広場」の催しがあります。去る4月にも、その三回喜さんかいきを盛大に催しました。

当分彼の笑顔が絶えることはないでしょう。その笑顔の絶えないかぎり、『近畿松江会』の発展は太鼓判です。ご清聴ありがとうございました。」

※編集注 “隠居村・隠居広場”は、旧制松江中学入學、新制松江高校1期卒業の有志の皆様が、母校(松江北高)を主会場として開催されている親睦会。

かり た
菟 田 運三郎〔第二代会長・顧問〕



近畿松江会創立 10 周年記念大会に当り、松江市長から感謝状受賞の榮譽に浴したことはこのうえない慶びです。これも皆様方のお力添えがあったればこそであり、感謝の念で一杯でございます。

10 年前に市町村合併により松江市も 20 万人近くの県都として新しく発足されました。これを契機に近畿島根県人会の存在しなかった松江市人会をつくり、新しい松江市の融和と発展に努めようとして創立されたのが近畿松江会の誕生でした。

当時、近畿島根県人会会長の和田亮介氏の呼びかけにより、10 人の発起人会を立ち上げ 5 回の会合を開きながら、数回にわたり地元松江市および関係団体を訪問しご挨拶とお願い行脚をいたしました。

その結果は私共の話を真剣に取り上げて頂き、懸命なご努力を賜りましたお陰で平成 18 年 10 月 22 日（日）大阪新阪急ホテルに 130 名を超える人たちが集まり創立発会式を挙げてから、早や 10 周年を迎え、感慨深い想いがいたしました。

何しろ零からのスタートで、会の基礎づくりには手間と時間が掛かりました。幸い松江市の強力な支援があり何とか形が整いましたが、本当に血肉の通った会になったのは、石の上にももの譬え通り、3 年の歳月が経ったころでした。

何とか早くというので、三水会という集まり、つまり毎月第 3 水曜日の夜、大阪玉造口にある「大栢」で、盃を交わしながら、腹蔵なしに語り合う会をつくったのです。そのうち、酒もいいが、一体感を出すには、やはり歌だということになり、岡野貞一作曲の故郷（ふるさと）の替え歌「ふるさと松江」を皆で作詩して三水会で合唱したのです。

早速効果がでたのが、故郷松江へのバスツアーです。ツアーは日本三大船神事の一つ“ホーランエンヤ”の見学でした。12 年に一度という勇壮きわまりない神事の見事さに、一同肝を奪われたものです。そして、行きかえりのバスの車中で謳った「ふるさと松江」の大合唱が松江会の結束を一気に昂揚させたことです。

おかげ様で、設立の苦難期は何とか乗り越え、後は県都松江を故郷にもつこの近畿松江会をどの様に発展させるのか。会歌は、歌詩の末尾を「だんだん松江ふるさと」と結んでいます。会発展の鍵は、この「だんだん」、つまり皆さんに対する“感謝”しかない、自分に言い聞かせる昨今です。



平成 25 年 7 月

和田亮介顧問・伊藤雅義相談役
澄川光成副幹事長 3 氏の退任
感謝の『だんだん会』

有 田 嵩〔副会長〕



人の輪

一万余人の合唱会に出た。

いろいろの合唱、ハーモニーをそれぞれしっかり楽しむ。最後に全員で“青い山脈”を合唱した。青、壮、熟年、それぞれいきいきした笑顔、握手、手をとり合って築く楽しい絆、きずな、手と手に伝わる信頼、まさに喜びと青春そのものを感じた。若々しい気持ちになった。

高校時代“青い山脈”を読み、映画を観て感激した。いつまでも文脈を繰り返し、山の彼方を見つめたのは“松江の美しい山、山だった。青春の夢は大きく開いた。

高校卒業後、近畿在住者による宍道会を結成し、郷里の誇りを心にして 会員の絆、信頼関係を築いた。絆は一層 強くなった。

その後、松江会の準備会があり、喜んで参加。立派な創立総会があり、参加者皆、よろこんだ。まさに新しいスタートだった。

今度、感謝状をいただき恐縮して居ります。

新しい出会い、きずなを大切にして、発展していく日本の中核都市に呼応した近畿松江会も、内容的にも実のある立派なふるさと会になるよう努めてまいりたいと心します。

青い山脈

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 若くあかるい 歌声に | 2 古い上衣よ さようなら |
| 雪崩は消える 花も咲く | さみしい夢よ さようなら |
| 青い山脈 雪割桜 | 青い山脈 バラ色雲へ |
| 空のはて | あこがれの |
| 今日もわれらの 夢をよぶ | 旅の乙女に 鳥も啼く |



滝空山～大平山～枕木山へ至る稜線

井上 隆吉〔常任幹事〕



去る5月24日近畿松江会10周年記念大会が盛大に開催されました。

当日は松浦市長をはじめ市の幹部の方、ご来賓、会員と会員関係の皆様合わせて140名と今までにない多数の出席をいただき、会を盛り上げていただきましたことを幹事の一人として大変嬉しく思いました。また、今回は時を同じくして松江城が国宝に指定された慶事と10周年記念大会が重なったことも大会が盛り上がった一因ではなかったかとも思いました。

こうした意義ある大会の中に於いて、私ごときが松江市より功労者として感謝状を拝受いたしました。これは偏に歴代の会長、役員の方々をはじめ会員の皆様のご指導、ご鞭撻のお蔭と厚く御礼申し上げる次第でございます。また創立時にご苦勞されました諸先輩に合わせて感謝を申し上げます。

創立当初からの会員ではありませんでしたが、入会して以来の思い出としての一歩は何と言っても平成21年5月の郷土訪問でホーランエンヤを見に行ったことです。子供の頃、祖父に連れて行かれたことを思い出し胸に迫る思いがありました。家内の友人3人を同行案内しましたが、皆、感激をされ、大変感謝をされました。

私は昭和11年、上東川津町で生まれました。川津小学校、第一中学校、松江工業高校で学び、昭和33年に大阪に出て建設会社に就職し、平成22年に退職するまで52年間勤務しました。大阪に出た当時は松江出身の方になかなか会う機会がなくて寂しい思いをしましたが、数年経た時に松江工業のOB会「近畿松江工窓会」があることを伝え聞き、すぐに入会し先輩達、松江出身の人達に会い、懐かしさと心強い思いをしました。それを機会に県人会、近畿島根経済倶楽部などに入会させていただき、各界で活躍されている皆様のお話を聞き、公私に参考にさせていただきました。現在は島根県市町村人会親睦ゴルフ大会、松江会の親睦ゴルフなどのお世話をさせていただいています。

その他、色々な機会を活用し、「水の都松江」の小冊子を配布して松江のPRに努めています。月1回のペースで実家の用事で松江にも帰っているところです。

今回の受賞を励みとして、松江市、近畿松江会の益々の発展の為、お手伝いできるよう努力いたしますので、近畿松江会ご関係の皆様方のご指導を宜しくお願いいたします。

末筆となりましたが、皆様のご健勝をお祈り申し上げます。



第6回 近畿松江会親睦ゴルフ
平成27年5月20日
於 茨木国際ゴルフ倶楽部

「松江の文化資源、 小泉八雲を現代に活かす」

島根県立大学短期大学部教授 小泉 凡



近畿松江会創立 10 周年の記念講演は文豪小泉八雲の曾孫で、八雲研究の第一人者として活躍されている小泉凡先生にお願いしました。広範多岐にわたるご講演はまさに地球規模。会員の皆さん、来賓の方々に魅了しましたが、紙幅の都合上、先生のお許しをいただいてその一部を骨子としてご紹介します。

担当 常任幹事 渡辺 悟（北田町）
＝文中の写真は小泉家提供

「松江の文化資源、小泉八雲を現代に活かす」

——。大変おこがましいタイトルですが、地域固有の文化を発掘し、磨いて地域づくりに役立てる、そうした動きが世界的に活発になる中で、小泉八雲は文化資源になり得ると、私自身最近とみに実感しているところです。私の実践活動を中心にそうしたお話をいたしたいと思います。

小泉八雲（ラフカディオ・ハーン、1850～1904）を「オープン・マインド」という切り口でとらえる考え方、あるいはそれに基づくプロジェクトが活発になっています。開かれた心、開かれた美意

識、自然との共生、平和志向。そうした八雲の生き方から現代は学ぶべきことが数多くあるという考え方は。

母親の祖国ギリシャで生まれた八雲は、父の国アイルランドに移り住み、妖精信仰、樹木信仰の色濃いケルト文化の中で育ちました。アメリカに渡った後、フランスやアフリカなど多様な文化や人種が混じり合ったニューオーリンズで 10 年、同じく住民のほとんどが混血のカリブ海マルティニーク島で 2 年暮らします。

ニューオーリンズではジャズの採譜に精力的に取り組みました。1870 年代から 80 年代のジャズです。



八雲がニューオーリンズに住み続けていたら、ジャズはもっと違った展開を遂げていたかもしれないとの指摘もあるようです。正統的なクラシック音楽以外の音楽を耳と心、つまり五感力できちんと評価したのが八雲だったのです。当時非合法だった有色人女性と結婚生活を送ったのもこのころでした。混淆、混血の地での暮らしの中で八雲のオープン・マインドは一層熟成されたのでした。



長男一雄と八雲、セツ（神戸時代）

八雲はその後日本を訪れ、最後の14年をこの国で過ごします。松江に住んで、日本人の自然観に共感し、讃え、祖先信仰に日本人の精神性の根底を見出します。妻セツを通して怪談に出会い、70もの怪談を再現したわけですが、彼は怪談という超自然の文学が持つ一面の真理に強く引かれ、その普遍性を広く紹介していったのです。

「子ども塾～スーパーヘルンさん講座」

そうした八雲を現代に活かそうと2004年に始まったのが「子ども塾～スーパーヘルンさん講座」です。



墓参りをする一雄、妻喜久恵、長男時

日の出日没を見たことがない子どもが40%、虫取りをしたことがないが50%……。八雲が視力の悪さを五感力で補ったように、さまざまな実体験をさせることで子どもの五感力を育成しよう、そのために八雲を活かそうという考えで、「ハーン百年祭実行委員会」の中で、山陰中央新報記者の方から提案されました。

靴下を脱いで歩いたことがない子どもたちがゲタを履いて、松江城のお堀にかかる北惣門橋を渡りました。心を開く、体を動かす——を基本に以後さまざまな取り組みが続けられてきました。松江出身の俳優、佐野史郎さん、「学校の怪談」の著者で民俗学者の常光徹さんに来てもらったこともあります。虫の声を聞き分ける博物館研究員を兵庫県から招いたこともありました（＝下表参照）。

【子ども塾～スーパーヘルンさん講座 11年の歩み】 敬称略

- 2004年 松江城周辺「町の音」
- 2005年 忌部高原「蝉の声」／漫画家大西洋一
- 2006年 島根町「怪談を聴く」／俳優佐野史郎
- 2007年 美保関町「民話を体感」／口承文芸学者酒井董美
- 2008年 八雲町「自然と文化」「学校の怪談」／民俗学者常光徹
- 2009年 出雲市平田町「虫の音の聴き分け」／兵庫県立人と自然の博物館
- 2010年 松江白潟・城西「明治の面影体験」「ゴーストツアー」
- 2011年 松江カラコロ工房「怪談屋敷を作る」／劇団幻影舞台
- 2012年 松江中心部「散歩と写真」／写真家高嶋敏展、グラフィックデザイナー石川陽春
- 2013年 松江かんべの里周辺／兵庫県立人と自然の博物館
- 2014年 松江カラコロ工房「松江耳袋をつくる」／作家木原浩勝

こうした五感教育の中で子どもたちが好奇心と想像力を高めながら身に付けたのは、自分と他者の存在のしっかりとした認識であり、自然との共生の大切さであり、地域文化への親しみなどでした。今年は「子ども八景」を見つけてもらい、五感で美をとらえることで伝統的な美意識の継承につなげていきたいと考えています。



Lafcadio Hearn 1889

怪談の資源化をめざす文化観光「松江ゴーストツアー」についてご紹介いたします。このツアーを始めたのは2006年8月。その前年、アイルランドへの親善ツアーで「ダブリン・ゴーストバス」の存在を知り、強い

衝撃を受けたのがきっかけでした。

松江ゴーストツアーでは、たとえば月照寺の闇を体験してもらいますが、肝試しではありません。ポリシーは4つ。豊かな遊び心を育てる。闇を歩くことで自然への畏怖を感じてもらう。耳で楽しむ。歴史や文学の知識をおみやげとして持ち帰ってもらう。

ツアーは2015年3月末までに243回実施され、

4002人の方々が参加しました。最近ではその8割が県外の方々となっています。

日本とギリシャの友好110周年の節目に当たる2009年、八雲のオープン・マインドをテーマにした造形美術を展示するイベントがギリシャで行われ、その流れは松江、ニューヨーク、ニューオーリンズと展開していきました。

2014年7月には八雲没後110年を記念した国際シンポジウムがギリシャで開かれ、9カ国のパネリストたちは八雲のオープン・マインドについて検証し、「優しさや寛容性と積極性を合わせ持った、現代に必要な思考」との考えで一致しました。

今年10月にはアイルランドで八雲の企画展が計画されています。持続可能な共生社会をめざす動きがますます強まる中、八雲の「オープン・マインド」はその意味を強めていっていることは間違いありません。

経済学者の故ガルブレイスは、GDP (Gross National Product) から GNE (Gross National Enjoyment) へ価値観の転換を説きました。つまり物質的豊かさへの限りない追求よりも、どれだけ人生を楽しむかが大事であると主張したのです。そうした時代、小泉八雲を文化資源として活用していただければこれに勝る幸せはありません。

ご清聴ありがとうございました。



「凡」の名前とボナー・フェラーズ

凡という名前は、祖父で八雲の長男である一雄が、初孫の私が誕生したとき、敬愛するボナー・フェラーズ（1896～1973）にちなんで命名したものです。

フェラーズは大学時代に日本の文化を知り、日米の懸け橋になろうと決意します。戦前よく日本を訪れ、一雄や母セツと交流をしていました。その後、ダグラス・マッカーサー将軍の副官となり、敗戦の日本にやってきました。象徴天皇制を初めて言い出し、昭和天皇を戦争犯罪人として訴追しようという連合国側の動きを退けたのはフェラーズです。

彼は、八雲の多くの著作を通して日本人の精神の根底に強い祖先信仰があることを学んでいました。だから、祖先信仰を体現する天皇を裁けば反乱が起き、平和的な占領が吹き飛んでしまうことをだれよりもよく知っていたのです。

フェラーズと一雄の間でやり取りされた手紙類を5年前、ニューヨークの古書店から入手しました。それによると、フェラーズは連合国最高司令官マ

ッカーサーの副官として戦後処理に当たる前にまず、東京・雑司ヶ谷の八雲の墓参りをしています。

1961年に私が生まれたとき、一雄からフェラーズに宛てて「あなたの名前の一部をいただきたい」とした手紙や、生まれたばかりの私の写真も初めて目にする事ができました。

一昨年にはハリウッド映画「終戦のエンペラー」が日本でも公開され、ボナー・フェラーズのことを多く皆さんに知っていただくことが出来て大変に喜んでおります。



八雲の墓参りをするボナー・フェラーズ（中央）と小泉家の人たち

●小泉 凡（こいずみ・ぼん）

島根県立大学短期大学部教授、小泉八雲記念館顧問、焼津小泉八雲記念館名誉館長。日本ペンクラブ会員。小泉八雲の直系のひ孫として1961年東京に生まれる。成城大学・同大学院で民俗学を専攻、1987年松江に。文化資源を発掘し、観光に生かす実践活動や子どもの五感力育成を目指すプロジェクト「子ども塾」の塾長として活動する。

主な著書に「民俗学者・小泉八雲」（恒文社／1995年）、「文学アルバム小泉八雲」（恒文社／2000年）、「怪談四代記 八雲のいたずら」（講談社／2014年）などがある。

「10周年記念総会・懇親会」

に参加して（アイウエオ順）



荒銀 昌治（安来市広瀬町）



10周年記念大会は、直前に松江城天守が国宝に答申されたこともあって、大いに盛り上がり、充実した楽しい会になりました。

その折、松浦市長から国宝格上げの決め手になった学術的研究成果の詳細を披露され感銘を受けました。

また、日本経済新聞が6月9日付朝刊で同様の内容の記事を掲載しましたので、全国的にも理解が深まり今後の観光にも役立つことになるでしょう。

機会をいただきましたので、松江・松江城と私の出身の広瀬町の「ご縁」について紹介します。

松江城は、関ヶ原の合戦（1600年）の戦功により出雲、隠岐の領主となった堀尾吉晴が、月山富田城（現在の安来市広瀬町）から移城し、完成したのが1611年です。

このため、家臣団を始め多くの住民も富田より松江に移住しました。そうして、実に427年という長い間、城下町として繁栄した富田は一寒村へと様が変わりをしてしまいました。

当時「思いがけない松江ができて、富田は野

となり山となる」とうたわれたということです。

現在、松江在住の人々もそのルーツを探してみれば広瀬に縁のある人も多いのではないかと思います。

なお、堀尾吉晴の墓は広瀬町にあります。1611年病没した吉晴はその遺言により月山の北麓にある名刹巖倉寺（イワクラジ）に帰葬されました。石組の台座の上に立派な五輪塔が月山山頂に向かって据えられています。

また、月山富田城は平成17年、日本城郭協会により「日本100名城」に選定されました。安来市は観光客等来訪者の利便性の向上を図るため、月山富田城周辺施設の修繕等の事業に多額の費用をかけて実施中です。

広瀬町出身者としては、松江城観光客の一部が月山富田城にも訪れてもらいたいものと願っている次第です。



「堀尾吉晴公像」松江城大手門

伊藤 雅義（宍道町）



今年3月下旬のある日、近畿松江会から一通の封書が届いた。開けて見ると創立10周年記念「総会・懇親会」の知らせである。

創立総会時に役員の一員として居合わせてから既に10年、この時間の経つ早さに唖然とした。

総会当日は少し早目に会場入りし、先ず呈茶

席で、菟田顧問ご令室様お点前のお薄を味わい深く頂く。

やがて定刻になり記念大会が始まる。挨拶や報告などの議事が進む中、この10年間折々の出来事が脳裏に走馬燈のように甦ってきた。

総会に続いての基調講演のテーマは「松江文化資源、小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）を現代にいかす」。講師は小泉凡先生。穏やかな語り会場は静謐な雰囲気包まれ、小泉八雲の直系の方にしか語れない講話を興味深く拝聴した。

休憩の後はいよいよ懇親会。私が就いたテーブルは和田哲（株）の守田さん、菟田顧問のご家族等気心の知れた方達で、食事をしながら和やかに会話が弾み、懇親を深めることが出来た。

宴が盛り上がるにつれ、テーブルを越しての交流も始まり、竹馬の友光田仁一氏等とも遙かなる来待の里に思いを馳せて杯を酌み交わした。また、松浦市長と同じ玉湯町林出身で私の妻の従弟、中曾暁尚氏が初めて出席しており偶然の再会を喜びしばし歓談することも出来た。

宴たけなわ「福引き大抽選会」が始まると、盛り沢山の豪華景品に歓声が沸いた。最後は万歳三唱でお開き。お世話して頂いた方々に感謝し、この慶事に参加できた喜びを噛みしめながら会場を後にした。

大浦 綾子（北田町）



「知らない偉い方ばかりのところで、緊張しなかった？」。私が「近畿松江会」に参加したと聞いて、級友が心配してくれた。

「そんなことなかったよ。楽しかったよ。」と答えながら、本当に良かったと、当日を振り返る。

受付を済ませ会場に入ると、特設のお茶席でのお抹茶のおもてなしが待っていた。懐かしい

お菓子と美味しいお抹茶に身も心も和らぎ、そこはもうふるさと「松江」の世界。ふと、「お客さん」に出すお抹茶の準備をする祖母の手元が脳裏に浮かんできた。格式張ることのない、普段着の日常の仕草。そんな小さな思い出が次々に蘇って来た。

私は、小泉先生関係ご著書や冊子「湖都松江」の特別販売のお手伝いをさせてもらったが、そこでいろいろな方とお話できたのも良かった。

国宝に指定された松江城天守。八雲を通して世界に発信されている故郷の姿。誇らしい気持ちでいっぱいになった。故郷松江を大切に守り続けてくださっている方々、日本全国・世界に松江の良さを発信し続けてくださっている方々、そして、故郷を懐かしみ親睦を深める機会を用意して下さった方々と同席できて、温かな気持ちになって帰路に着いた。

松江商業の生徒さんが作られたという美味しいお煎餅を抱えて・・・。



「著書・冊子、特別販売中」

押田 良樹（大庭町）



記念すべき創立10周年記念総会まで残り10日を切った5月15日のことである。竹谷事務局長がメールで思いがけないニュースを伝えてきた。何と松江城天守が国宝に指定されることになったというのである。

突然の知らせに驚くとともに、あまりのタイミングの良さに信じられない思いであった。

質実剛健の風格を示す我らが松江城天守が、

国宝の価値ありと認められ、全国・全世界に知られることは、近畿松江会の会員にとって、この上ない喜びであり、長年国宝化に向けて運動を続けてこられた地元関係者各位の喜びはいかばかりかと感慨深いものがあった。

達筆で知られる小川龍朗副会長は、即日、雄渾なる筆致で「祝松江城天守国宝指定」と大書した垂れ幕を作られ、それが記念総会の壇上に華やかさを加えることになった。

そして、当日は会場全体が常にも増して終始高揚感に満ち溢れ、10周年記念総会は忘れ得ぬ印象深いものとなった。

また、小泉八雲の曾孫である小泉凡氏の講演も実に興味深いものであった。昭和天皇を戦犯から救ったと言われるマッカーサーの副官ポナー・フェラーズと八雲の因縁、そして戦後、八雲の長男であり凡氏の祖父である一雄氏とフェラーズの再会など数々の奇遇や小泉家に起こる不思議な出来事など、直系の曾孫凡氏ならではの話には迫真力があつた。

実は、松江北高の近畿地区同窓会である近畿双松会の一部の会員の間では、今年初め頃から突如と言う感じで「小泉八雲ブーム」が起っていた。仕掛け人は渡辺悟事務局長で、「新編 日本の面影（角川ソフィア文庫）」を会員に熱心に紹介、推薦した。私も八雲作品は「日本雑記」などを断片的に読んだだけであり、特に松江を舞台にした作品に関してはほとんど読んでいなかった。この松江や松江市民を生き生きと描いた作品は、初めて、八雲と松江という視点から八雲を理解するのに役立った。その後「神々の国の首都」、「へるん先生生活記（梶谷泰之著）」、「八雲の妻—小泉セツの生涯（長谷川洋二著）」、「怪談四代記（小泉凡著）」、「終戦の昭和天皇 ポナー・フェラーズが愛した日本（山野車輪著）」など、八雲関係作品に浸る日々が続いている。

私よりもさらに八雲好きが嵩じたらしい松本耕司会長などは、八雲終生の大著である「日本一つの試論」という難しそうな本を、5508円の大枚を投じて入手している。（読破したかどうかは不明であるが。）私もいずれ挑戦したいと考えている。

去る7月4日は松江の「八雲会」創立100年の記念行事として、西津田の総合文化センターで八雲会主催の「八雲の記憶、百年の継承」と題する記念講演会・シンポジウムが開かれ、折よく帰省中であつたので参加することができた。本庄の生家の草刈り作業で帰省中だった松本氏も作業を早々に切り上げ聴きに來たのは言うまでもない。

100年にわたって八雲顕彰のために地道な活動を続けてきた八雲会に敬意を表するとともに、あらためて八雲のオープンマインドと思考力の広さ、先見性や観察眼の鋭さを再認識する機会となった。

八雲の血を受け継ぐ凡氏が若くして松江にIターンされ、腰を落ち着けて、八雲顕彰の中心として活躍されているのは実に貴重というべきことであり、松江市はかけがえのない人的資産である八雲と、貴重な物的資産である松江城を、松江の知名度アップに一層活かしてほしいと願うところである。

松江城天守国宝化を皆で祝うとともに、小泉八雲への理解を深める機会となり、私にとって実に有意義な10周年記念の総会であつた。

小高 久始（宍道町）



10周年記念大会の盛会を眺めながら、まずは発足から今日までの役員さん達のご苦労に深く感謝申し上げます。

私自身にとっても70歳から80歳と体力の鈍化が始まる時でしたが、小学校、高校までの

同窓会が、高齢のためと称して次々に終わりとなり、松江に行く機会が減ったときびしく思っておりまして。

近畿松江会の発足により、隔年の故郷訪問バス旅行があり、総会では松江の空気に触れることが出来、有難く喜んでます。

近畿松江会、今後も益々の発展を期待しております。

小田 一美 (堂形町)



「やあ、今日は」、「よう、久しぶり」。いろいろな挨拶が聞こえてきた。近畿松江会創立 10 周年記念大会に参加した時のことで

ある。

満面の笑みをうかべ、楽しそうな、嬉しそうな顔、顔、顔。

私も、初めて参加する友人 2 人を誘い参加した。今回で確か 3 回目となる。友人を共通の知人に紹介するためである。1 人は約 60 年ぶり、1 人は約 40 年ぶりとのこと。2 人とも時空を超えてすぐに楽しそうに談笑していた。一時期をともに過ごしたふるさと松江の力は絶大なものである。人の縁、繋がり、深さをあらためて感じた次第である。

私もいつものことながらとても楽しく参加させていただいた。今回の記念大会を開催するにあたり、役員の方のご苦勞は大変なものであったと思う。また 10 年間松江会を支え、運営されてこられた故郷の先輩方にあらためて敬意を表します。

今後も出来る限り参加させていただきたいと思っています。感謝。

神谷 紀男 (堅町→新町→上乃木)



学校の先輩（伊藤会長）の影響で入会して 8 年目、今回の総会は記念大会ということで都合をつけて参加しました。

小泉先生の基調講演は非常に興味深く拝聴しました。また、松江城天守の国宝指定、市区町村の「暮らしやすさ」松江市が全国トップ、錦織圭の活躍などのニュースはうれしい限りです。

参加の都度、新しい出会いがありそれが楽しみの一つですが、今回、武田常任幹事から茂居常任幹事を紹介されました。私が茂居さんと同じ堅町に住んだことがあり意気投合。数日後、3 人で再会し昔話に花を咲かせました。一期一会の場を与えてくれるのも近畿松江会の良いところです。

木村 恵吉 (雑賀町)



近畿松江会創立 10 周年記念大会は来賓 32 名をお迎えし、会員、会友 105 名と多数出席いただき成功裏に終えたことを、一会員としてうれしく思います。

私は開宴の挨拶を受け持ちましたが、挨拶には開催間近に飛び込んできた松江城天守の国宝答申、経済産業省による「松江市は全国一住みやすい町」の調査結果の発表、また錦織選手の活躍などのうれしいニュースを入れさせていただきました。そしてその詳しいお話を松浦松江市長様からご祝辞の中でお聞かせいただきとうとうお願いをして、挨拶とさせていただいた次第です。

うれしい話が多く祝賀ムードの中での大盛会、皆様ご苦勞様でした。

田部 拓生（手角町）

近畿松江会創立 10 周年おめでとうございます。創立 10 周年記念総会に出席し郷里の皆様との素晴らしい出会いをいただき、懐かしく会話しました。それぞれに年は重ねましたが想いは一緒、郷里の話に花が咲き大変盛り上がりました。

あらためて 10 年の長きに渡り、お世話いただいた歴代会長と、関わっていただいた役員の皆様に敬意を表すところです。

総会にご臨席いただいた松江市長松浦正敬様からは「松江城が国宝に指定」されたというビッグニュースを満面の笑みを浮かべ紹介され、経緯のご説明をいただきました。会場からは拍手の渦と喜びの声が上がりました。

松江にとっては長年の夢が叶い、松江市全体が燦然と輝いているように感じました。喜びに沸く郷里松江、そして故郷の姿を思いペンを執った次第です。

鶴羽 孝子（西持田町）



記念大会の 9 日前にもたらされた「松江城国宝指定」という朗報は、「近畿松江会」の 10 周年に大輪の花を添えました。

晴れやかに記念総会が開催されたあと、小泉八雲のひ孫にあたる小泉凡先生より「松江の文化資源、小泉八雲を現代に活かす」をテーマに基調講演がありました。八雲の足跡をたどるなかで、今まで知りえなかった意外な経歴や、親族ならではの秘話を聴くことができ、人間味のある八雲の実像に触れた気がしました。講演のあと、会場で販売されたご自身の著書に、気さくにサインして下さった凡先生の温かいお人柄も心に刻みしました。

そのあと開かれた懇親会では、多数のご来賓が列席されるなか、松江市長のご挨拶がありま

した。松江城国宝指定を決定づけた祈禱札が見つかった裏話が披露され、その興奮が直に伝わり、改めて慶びを共有しました。

この会のメインイベントである抽選会では、牡丹の花をはじめ松江の特産品が次々に景品として登場し、皆それぞれに郷土の品を手に入れました。



「抽選会風景」

ただ一つ残念だったのは、名誉会員である桂すずめこと三林京子さんが、やむを得ぬ事情によりお越しになれなかったことでした。すずめさんの落語を一席聞けるのではないかと心待ちにしていたのですが、最後までそのお姿は見え、次回のお楽しみとなりました。

このふるさと会が末永く続き、よりよき会となることを願いつつ、祝宴の幕を閉じました。

『事務局より』

名誉会員三林京子さんは早々にご臨席のご返事をいただき、抽選会の景品とさせていただきます。絵入りのサイン色紙と手ぬぐいもお届けいただきました。

午前中の仕事が長くなって時間に間に合わず申し訳なかったと、わざわざお詫びに事務局までお越しいただきました。だんだん

松本 耕司（上本庄町）



小泉八雲の曾孫の小泉凡先生のご講演に加え、松江城の国宝指定のビッグニュースが舞い込み、この上ない状況の中で

10周年記念総会が開催されましたことを、皆様とともに心から喜びあいたいと思います。

小泉八雲は著書の中で松江城のことを細かく観察してその印象を記していますが、その中で「松江城の天守は竜だ」と言っています。「上下左右ところ構わず角という角に漏れなく目をつけた竜だ」と。

そして、今回の国宝化の大きな決め手となったと言われる松江市ふるさと文庫 16「松江城再発見」（松江城調査研究委員会、西和夫委員長著）を拝見すると、八雲の見た松江城の印象が大きなスペースを割いて紹介されています。きっと文化庁の担当の皆さんの心をゆさぶったことと思います。

松江が国際文化観光都市になったきっかけも小泉八雲の著作活動に負うところが大きいと聞いていますが、八雲は今また松江城天守の国宝指定にも大きな役割を果たしてくれたのだなと思います。

そういう奇しき縁を感じながら小泉凡先生のお話を楽しくお聴きいたしました。

どなたかから聞いた言葉ですが、小泉八雲はまさしく我々が誇る「松江の文化英雄」ですね。



村尾 俊治（東朝日町）



創立 10 周年記念大会に相応しい企画内容で時を忘れ、楽しく参加出来たことに感謝します。

二つの事を書かせていただきます。

一つは小泉凡氏のお話です。感動したのは小泉八雲がオープンマインドで生きてきたと云うことです。小泉八雲の多くの成果物には子供の頃より接して来ましたが、その成果物がどのように生まれたのか、その思想やプロセスについて知ることはありませんでした。このオープンマインドそのものを掘下げて我々は知る必要があると思います。

先日（5月15日）、ほぼ55年振りに小泉八雲記念館へ行ったその時、研究員の方だと思いますが「オープンマインド」についてお伺いした。現時点では知る書物もないとの事。しかし来年（平成28年）にリニューアルオープンした時に特別コーナーをつくる予定と聞かされ、強い期待を持って別れた。

二つ目は松江市の錦織観光事業部長と同じテーブルに座ったことである。国宝松江城を中心に水と緑と石垣そして山々、美しい松江をもっと広く知って貰う為に多くの人に来て欲しい。今後の企画に向け提言をして行きたいと思えます。



『国宝松江城天守』筆者作（H25.10）

山崎 麻里子 (石橋町)



ひよんなことから近畿松江会に入会することになって、初めての総会。奇しくも創立10周年記念大会ということで、小泉凡

氏の講演あり、空クジなしのクジ引きありと充実した会でした。

同郷出身者というのはいいものですね。「あうん」で通じる話があるし、何より松江の自慢話をしても誰も嫌な顔をしません。松江大好き私としては、思いっきり松江の話が出来たひとときでした。

会場で松江の文化情報誌「湖都松江」を購入し、帰宅してじっくり読みました。知らないことが沢山あり、益々松江を好きになりました。和田亮介先輩のエッセイも素晴らしかったですねえ。思わず引き込まれてしまいました。継続して購入しようと思っています。

会のお世話を下さった役員の方々がありがとうございました。これからも近畿松江会に参加させていただきます。

最後に「松江城天守国宝」指定バンザーイ！！

『事務局より』

冊子「湖都松江」について

昨年、美保関でご講演いただいた高橋一清先生（松江観光協会観光文化プロデューサー、元文藝春秋各誌編集長）が編集統括をされている冊子「湖都松江」（年2回刊、単価411円）は、松江が誇る地域文化の情報誌です。

今回総会でも特別販売しましたが、近畿にいながらにして松江のことをより深く知ることができます。ご関心のある方は松江市文化協会（0852-26-1157）までお問い合わせください。

脇田 茂子 (大阪市)



摩訶不思議・怪異・奇妙

日本にかかわらず世界中には科学では解明できない色々な現象や物語が存在しています。

神々の地出雲でのそれも異国を生地として持つ小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）の日本の「心」の奥深い所にある『言霊幸ふ国』の伝承物語の裏側を曾孫さんである小泉凡先生による講演で聴かせていただいたことが大変喜ばしい事でした。

改めてこの日本の地に伝承されている様々な物語を一つ一つ紐解くことが出来れば・・・と思います。

昨年の高橋一清先生に続き、今回も素晴らしい講演で楽しませていただきました。

近畿松江会のますますのご発展を心よりお祈りいたします。

『事務局より』

会友の脇田さんには、一昨年合併した東出雲町を歌詞5番として謳った会歌「ふるさと松江」をピアノ伴奏、そして自ら歌い、最新CDを作成していただきました。有難うございました。



閉会后役員集合

創立10周年記念総会・懇親会 寄附金・抽選会景品寄贈者、団体

(順不同・敬称略)

寄付をいただいた方々

足立 秀之・荒銀 昌治・石倉 文行・石田 裕子・伊藤 征治
伊藤 雅義・井上 伸久・井上 隆吉・井上 芳子・内田 美二
内 部 茂・梅木 隆志・大野 徹・大堀 裕子・岡本 由美
小川 龍朗・押田 良樹・小田 一美・面白 紘・景山 克雄
神谷 紀男・荻田 運三郎・川角 十四枝・菊池 尅雉・木島 光子
北島 幸子・木村 恵吉・木村 八重子・京嶋 喜久子・木幡 晃正
坂井 茂子・佐藤 早智子・篠崎 一浩・篠田 いづみ・澄川 光成
曾田 良子・高橋 小梅・竹内 一郎・竹内 喜次男・武田 貞雄
武田 和子・竹谷 奨・竹谷 曜子・田中英明・坪倉 司郎
鶴羽 孝子・鳥屋尾 勇・永井 彰・永江 幹雄・永瀬 光一郎
中村 博行・仁宮 龍聖・野津 ゆう子・長谷川 忠雄・長谷川 紀美子
福屋 篤子・藤坂 優子・松尾 年浩・松本 明夫・松本 育郎
松本 耕司・三代 知範・光田 仁一・三成 宏二・村上 勝美
茂居 理智子・守田 宣昭・森廣 洋子・山内 和美・山崎 杲
山田 稔・和田 寛・和田 亮介・渡辺 悟

抽選会景品寄贈者、団体

松江市 [牡丹鉢植・さざえ粕漬け・地酒豊の秋・玉造キラキラミスト]
島根物産協会 [和菓子]
李白酒造 [純米清酒]
活旬 大枡 [あご野焼詰め合わせ]
伊藤 征治 [松江商業せんべい]
三林 京子 [サイン入り色紙・手ぬぐい]
井上 道子 [清 酒]

※抽選会景品とし当会で用意した松江産品

風流堂 [山川]
株式会社中隆 [松江ラーメン]
中村茶舗 [ラフカディオコーヒー]
はまぼうふう生産組合 [はまぼうふう醤油漬]
ホテル一畑 [胡麻ドレッシング]

寄稿集 “松江だんだん”

会報のニックネーム「松江だんだん」にちなみ、「松江に“だんだん”する」ページをつくりました。

わが町・わが村・・を「語る」内容でも、「思い出」でも、「思い」でもすべて可とし、今年も下記の方々に、謂わば町内代表としてご寄稿をいただきました。

皆で語り継ぐ企画ですから、町内リレー大会のように、次号はあなたにバトンがいくかもしれません。その節はよろしくタノンマスケネ。

■ 堅 町

「堅町あれから40年」



茂居 理智子

(堺市在住)

子供の頃「堅町に住んじょうわね！」と言うだけで自慢でした。

天神橋と9号線に挟まれた街。行きかう人は皆知り合いの様で誰にでも「ちょっこし寄って茶飲んでおちらとしゃっしゃい」と。一杯茶は縁起が悪いと2杯、3杯。茶菓子は煮メや漬け物。「バスはなんぼでもくーわね」。松江の下町人情の街。

あれから40年

バスは一時間に一本来るかな？

呉服屋、魚屋が3軒、風邪ひいてもけがしてもとにかく診てくれた病院。古い建物の堅町郵便局。スポーツ用品、化粧品、ボタン、洋品、堅町に寄れば何でも揃う。

“まるで商品の宝石箱だがね” 今でも商店の名前は覚えていますよ。

あれから40年

空き家と行きかう人も少なくなってきたきれいな街。銀行も支店から出張所になってしまいました。今、堅町は頑張っていますよ。昔の青年成人君を中心に手作り物づくりの街として新しい、若い人たちが集まり始めました。空き家の再利用、よみがえりの風が吹きつつあります。

当時からある紋書き屋、金物屋、茶碗屋、げた屋、紙問屋、服地屋、花屋、傘屋、薬局など、応援したくなる店がここで頑張っています。



私のささやかな恩返しは築城400年祭で全国から集めた南京玉すだれの仲間80名と堅町から松江城まで“松江良いとこ玉すだれ”パレードが出来たことです。もちろん私が先頭ですよ！「松江城を国宝に」の応援に少しでもお役に立ったかな？

皆さんも帰松の際は、頑張る堅町へあの頃を思い出しながら寄ってごさないね。

“だんだん”

■ 八束町

「ふるさと大根島の思い出」



福屋 篤子

(豊中市在住)

私の故郷は大根島です。18歳でふるさとを離れ、大阪豊中に住んで44年、随分月日が流

れました。還暦を過ぎて、ふるさととも遠くになっただけなのに、大根島は、私の心の中からはなれません。幼い頃は、畑の中に石土道が広がり、人参畑に牡丹園、気心知った大人たちが、遅くまで畑仕事に精を出されている日常がありました。中海に囲まれた大根島では、赴任された恩師が異動になる時など、合同汽船の着く棧橋に集まって、紙テープを手にも別れを惜しんだ風景も浮かんできます。今では“べた踏み坂”で話題となった江島大橋を渡って境港市に拡がり、干拓事業により築堤され、現在は幹線道路として供用されている堤防道路で松江市街地に通じ、車の往来が可能となって随分と便利になりました。



幼い頃の記憶の中に小学校時代があります。今は小中一貫校になり「八束学園」になったと聞いています。学年、40名程で2クラス、遊びも勉強も陽が暮れるまでいつも一緒にいました。身長が1歳にも満たなかった私は大きなランドセルが重く、小学校の道程が随分長く感じられたものでした。なかなか校舎までたどり着けずにいた頃、背中の中のランドセルをポイと持ち上げて、そのまま校舎まで導いてくれた先輩、桑の実畑で道草をしたり、大塚

山に登ったり、耕運機が止まって、「のっついていっしょい（乗せてあげるよ）」の声。友たちと乗り込み、そのまま家路へ、学校を中心に豊かな畑路を探索していた頃、同級生との思い出も膨らみます。

家路に着くと、祖父母、曾祖母がご近所の方と茶たくを囲んで、お茶会が始まっていました。煮物やお漬物等、何でもお茶請けになり、穏やかな笑顔の数々、“おかえり、たいぎしたなー”の言葉が焼き付いています。とっっても寛いでいた幼い頃を懐かしく思い出しますが、住む場所は変わり、歳を重ねた今でも、大根島の風習が忘れられず、友たちと茶たくを囲んでいる私です。一家団らんで、“なごやかに 思い出で語る 年の暮れ”は本当に楽しいものでした。

年に1, 2回帰郷したときに牡丹や薬用人参を島の土産として持ち帰ると、とても喜ばれます。牡丹の大輪花は、やさしい存在感が溢れ、見事に咲いたときは、何者にも代え難く、庭先や職場にも植えて毎年楽しみにしています。

自己紹介で、「島根県の大根島です」と伝えられると「へー大根島？大根とれるの？」と聞かれ、「どんな所？行ってみたい」と、すぐに記憶されてしまうほど、“大根島”は珍しい地名？なのか有名になってしまいます。実際のところ、由来はわかりませんが、それが心地よく、転勤の都度、ちょっぴり得意げに出

身地を伝えてきた自分がいます。薬用人参、牡丹の観光地、等々貴重な特産品がたくさんある中で、どれだけ島の大人たちが精魂こめて、現在にいたっているのか、感慨にふけています。

今でも、年老いた母が秋の夜長にコツコツと牡丹の苗づくりに励んでいます。「手伝おうか？」と声にするものの、形にたどりつかず、精を出す母を、唯々尊敬の眼で眺めながら…。

近日、近畿松江会・懇親会に出席した折り、“はまぼうふう”というお漬け物をいただきました。幼い頃には無かったので、ふるさとの母に聞くと随分前から苗を植えて育て、今では大根島の特産品になったとか、小・中学校の同級生が頑張っているとか、ふるさとも新しく開花していることを知り、つい笑顔になります。

国宝になった“松江城”を息子と訪れたいと思いつつ益々発展していく松江市を仰ぎ、人情豊かな大根島の飛躍を祈念するひとりで



■ 手角町

「わが町」



田部 拓生

(奈良市在住)

松江市観光大使、平城東公民館自主活動グループ連絡協議会会長、平城東山野

草愛好会会長、奈良市民生協「ならコープ」総代、正岡子規記念庭園 庭守り隊長

私の故郷は松江市手角町、旧八束郡本庄村手角で、松江市内から美保関方面に向かう島根半島の中心部に位置し、日本海側北浦・片江方面と美保関方面と道分かれする所です。中海の中央に大根島を望み、その後方には伯耆大山を眺望できる、海と山に囲まれた風光明媚な所です。

当時は合同汽船も寄港し、また、バスの乗り換え地点として交通の要所でもありました。村の山手には枕木山「龍翔山 華蔵寺」の末寺「象田寺」がありました。

朝は大山から大根島にかけ射すご来光や中海の水面に映る朝日を眺め、夕には「秋の夕焼け鎌を研げ」の格言のように枕木山に沈む夕焼けを仰ぎ、明日への備えと希望をつなぐ自然あふれる閑静な農村でした。村人は出会えば「お茶でもどうです」と誘い合う人情味あふれる村でした。

海側に目を向けると、港の中央にはカキの養殖筏が浮かび、冬には美味しいカキを食べ、中でも中海のウナギは絶品でした。今もなつかしく、時々魚介類を取り寄せて賞味しています。

港には小さな人工の出島があり弁財天が祀られ盆正月にはお参りしました。夏には島の周りでよく泳いだものです。この島の周囲に棲息する甲羅が高く丸い2～3cmの天然記念物「平家蟹」の子供がおり飼ったことを思い出します。自然に恵まれた心豊かな故郷でした。両親が他界し最近では帰郷することも減りましたが、時々帰郷し村の方と出会うと顔を覗き込むようにされて、「あら帰られましたか」とか、長老からは「モドラッシュッタカ」と声を掛けていただき、懐かしい方言も飛びだして新鮮に聞こえ、「ちょっと帰ってきました」と挨拶を返します。これも素晴らしい出雲の人情・文化だとあらためて実感しているところです。

こういった自然と文化の中で生まれ、昭和32年に大阪に就職して以来、いつの間にか半世紀余りが過ぎました。現在は奈良市に住まいしております。「神々の国出雲・松江」から「日本のまほろば奈良」に住まいし、神々のご縁をいただいたのかと思います。奈良にて50余年、今は奈良が第二の故郷となりました。

現在は地域の公民館活動やボランティア活動に参加し、また故郷で親しんだことと大変

関係深い趣味の会「山野草愛好会」も主宰しています。本庄地区に凜として聳える枕木山には「華蔵寺」があり、重要文化財「薬師如来像」が祀られていますが、そのせいか寺の周囲には薬草が数多く生息し、美しい花と香りを楽しませてくれました。(今も予約にて精進料理がいただけると聞いています。)

この素晴らしい郷土の自然の中で過したこともあり、十数年前から「山野草愛好会」を立ち上げた次第です。毎年3～4回の展示会を開催し地域の皆さんにご覧いただいています。来場の皆様の目は輝き、感嘆の声と喜びの声を聞くたびに天の声に聞こえます。

特に障がい者福祉施設での展示会で、障がいのある方や同行者の方から「元気なときは里山でよく見た花だ」と感嘆の声を聞いたときは、「野草と出会い、会話し、自然と関わり、心豊かに日々活動できる喜び」を感じずにはいられませんでした。地域の皆様、そして同好会、多くの友人との出会いを大切に語り合い紡ぐ絆をかみしめ、第二の故郷で夢ある日々を大切に重ねたく思います。

素晴らしい故郷を思うとき、人情豊かな温もりと「おもてなしの心」を忘れない松江の皆さんは私の誇りです。いつまでも「侘び寂びの心」を忘れず、豊かな自然を守り、自然と共生する街であって欲しいと思います。

会 員 名 簿 (中・小学校区別)

平成27年9月現在

①”ふるさと”に密着した「会員名簿」とするため、中・小学校区(通学区域)と、皆様から申告いただいている「出身町」をあてはめて作成しました。

②不具合、間違いがあります場合は、事務局までご一報いただければ幸いです。

⇒(注)島根大学付属小(中)学校は、この表には記載していません。

校区／出身町	通学区域・町名／会員氏名
【一中校区】	
生馬小 (上佐陀町一部、下佐陀町、西生馬町、東生馬町、薦津町、浜佐田町一部)	
内中原小 (殿町一部、西茶町、東茶町、学町、中原町、片原町、外中原町、内中原町、末次町、堂形町、砂子町、国屋町、黒田町一部、浜佐田町一部、千鳥町、南平台)	
城北小 (北堀町、奥谷町、東奥谷町、石橋町、大輪町、湊北台、法吉町一部、春日町一部、黒田町一部、菅田町一部)	
法吉小 (比津町、比津が丘、法吉町一部、西法吉町、春日町一部、黒田町一部)	
<石橋町>	井上 芳子(高槻市) 清水 良子(茨木市) 田村 稔久(豊中市) 永井 ひろし(京都市) 田中 裕子(吹田市) 山岸 麻里子(大東市) 池田 喜美代(門真市)
<内中原町>	千葉 新一(池田市) 大堀 裕子(東大阪市)
<奥谷町>	乾 チカコ(大阪市) 宮内 節子(宝塚市)
<片原町>	土田 和男(大阪市) 村上 勝美(三島郡島本町)
<北殿町>	
<北堀町>	伊藤 征治(奈良市) 平山 武秀(箕面市) 山口 茂(京都市) 和田 邦孝(神戸市)
<黒田町>	山口 紀子(神戸市) 野津 ゆう子(奈良市)
<湊北台>	山田 敬子(吹田市)
<殿町>	飯塚 満男(茨木市)
<堂形町>	小田 一美(奈良市)
<中原町>	佐々木 悦子(吹田市) 宍道 弘志(吹田市)
<東生馬町>	青戸 俊夫(神戸市) 藤原 敬(松江市)
<法吉町>	景山 克雄(八尾市)
【二中校区】	
朝酌小 (西尾町、朝酌町、福富町、大井町、大海崎町)	
川津小 (菅田町一部、西川津町一部、上東川津町、下東川津町)	
母衣小 (末次本町、東本町、殿町一部、母衣町、北田町、南田町、米子町、向島町、西川津町一部、学園南、学園)	
持田小 (福原町、坂本町、川原町、東持田町、西持田町、上本庄町一部)	
<上東川津町>	井上 隆吉(高槻市) 井上 伸久(高槻市)
<西川津町>	今井 憲子(大阪市)
<北田町>	渡辺 悟(吹田市) 大浦 綾子(西宮市)
<末次本町>	山田 稔(富田林市) 三成 宏二(木津川市)
<西尾町>	篠木 豊(大阪市)
<西持田町>	鶴羽 孝子(尼崎市)
<東本町>	木村 八重子(八尾市) 永江 幹雄(神戸市) 一軸保志郎(堺市)
<母衣町>	川角 十四枝(高槻市) 大野 賢造(川西市) 篠田いづみ(豊中市)
<南田町>	松井 恵(京都市) 山崎 晃(西宮市) 松本幸子(大阪市)
<米子町>	永瀬光一郎(芦屋市)

校区／出身町	通学区域・町名／会員氏名
【三中校区】	
雑賀小 (栄町、新町、松尾町、雑賀町、堅町、本郷町、西津田一部、上乃木一部) 中央小 (天神町、白潟本町、灘町、魚町、八軒屋町、和多見町、寺町、横浜町、幸町、袖師町、嫁島町、伊勢宮町、御手船場町、大正町、新雑賀町、東朝日町、朝日町、津田町、西津田一部、西川津町一部)	○平成7年4月1日 白潟小学校 + 朝日小学校 ⇒ 中央小学校
<朝日町> <伊勢宮町> <雑賀町> <白潟本町> <新町> <栄町> <新雑賀町> <大正町> <堅町> <天神町> <灘町> <東朝日町> <本郷町> <横浜町> <和多見町>	岡 茂(大阪府豊能郡) 竹谷 曜子(大阪市) 奥村 伸子(豊中市) 荻田 運三郎(明石市) 木村 恵吉(吹田市) 篠崎 一浩(神戸市) 澄川 光成(河内長野市) 武田 和子(宝塚市) 福間 則博(宝塚市) 江角 要一(大阪市) 武田 貞雄(堺市) 斎尾秀城(神戸市) 中村 博行(名張市) 有田 鋼司(大阪市) 永井 彰(津州市) 仁宮 龍聖(高石市) 赤井 真一郎(大阪市) 望月 修一(豊中市) 茂居理智子(堺市) 竹内喜次男(高槻市) 佐藤早智子(茨木市) 長谷川 忠雄(奈良県北葛城郡) 内部 茂(茨木市) 菊池 尅雄(神戸市) 村尾 俊治(枚方市) 荻田 京子(松江市) 岡本 由美(伊丹市) 安島幸雄(吹田市)
【四中校区】	
古志原小 (古志原一部、八雲台、上乃木一部、一の谷町) 津田小 (東津田町、古志原一部、西津田一部)	
【湖南中校区】 ○昭和50年4月1日 新設	
忌部小 (西忌部町、東忌部町、玉湯町一部) 乃木小 (上乃木一部、浜乃木町、浜乃木、乃白町、乃木福富町、田和山町、西嫁島)	
<上乃木> <古志原町> <西津田> <浜乃木> <東津田町>	神谷 紀男(堺市) 田中 英明(交野市) 森廣 洋子(松江市) 坂本 隆男(津州市) 曾田 良子(奈良市) 三代 知範(神戸市) 平山 恭子(大阪市) 井々乃かな(高槻市) 藤坂 優子(泉大津市) 荻田 莞爾(松江市)
【湖東中校区】 ○平成5年4月1日 新設	
大庭小 (大庭町、山代町、古志原一部、佐草町、大草町、矢田町一部) 竹矢小 (矢田町一部、青葉台、竹矢町、馬潟町、八幡町、富士見町)	
<大草町> <大庭町> <馬潟町> <山代町> <八幡町>	足立秀之(茨木市) 押田 良樹(吹田市) 松尾 年浩(高槻市) 大野 徹(奈良市) 小泉 勝是(長岡京市)

校区／出身町	通学区域・町名／会員氏名
【鹿島中校区】	
鹿島東小	鹿島町(御津、上講武、南講武、北講武、名分一部)
惠曇小	鹿島町(惠曇、手結、片句、佐陀本郷一部、武代一部、古浦一部)
佐太小	鹿島町(佐陀宮内一部、佐陀本郷一部、武代一部、古浦一部、名分一部)
<鹿島町>	坂井 茂子(亀岡市) 山本 雅昭(大阪市) 小松 砂知子(東大阪市) 内藤 みよ子(明石市)
【湖北中校区】	
秋鹿小	○平成6年4月1日 古江中学校 + 秋鹿中学校 + 大野中学校 ⇒ 湖北中学校 (秋鹿町、岡本町、大垣町)
	○平成22年4月1日 中島小学校 + 秋鹿小学校 ⇒ 秋鹿小学校
大野小	(大野町、上大野町、魚瀬町)
長江小	(東長江町、西長江町)
古江小	(古曾志町、西谷町、古志町、荘成町、西浜佐陀町、上佐陀町一部)
	○平成23年4月1日 長江小学校 + 古江小学校 ⇒ 古江小学校
<秋鹿町>	
<岡本町>	折坂 栄久(河内長野市)
<東長江町>	和田 寛(河内長野市)
【島根中校区】	
島根小	○平成16年4月1日 島根中学校 + 野波中学校 ⇒ 島根中学校 (島根町)
	○平成17年4月1日 大芦小学校+加賀小学校+野波小学校 ⇒ 島根小学校
<島根町>	小川 龍朗(京都市) 客野 伸(神戸市) 藤城 坦(神戸市)
【宍道中校区】	
大谷小	宍道町(上来待和名佐地区)
来待小	宍道町(東来待、西来待、上来待)
宍道小	宍道町(宍道、伊志見、白石、佐々布、昭和)
<宍道町>	有田 嵩(寝屋川市) 池尻 和子(東大阪市) 伊藤 雅義(京都市) 小田 兼久(豊中市) 川島 俊雄(川西市) 木原 貢(豊中市) 小高 久始(堺市) 木幡 泰三(寝屋川市) 木幡 晃正(篠山市) 梶月 禧暉(宝塚市) 高木 征次(交野市) 武田 精(八尾市) 田中 晨子(枚方市) 土江 安雄(堺市) 飛田 藤夫(大阪市) 光田 仁一(奈良市) 渡部 勇(宝塚市) 渡部 恵美子(宝塚市) 和田 亮介(豊中市) 阪本浩吉(枚方市)
【玉湯中校区】	
大谷小	玉湯町(大谷一部)
玉湯小	玉湯町(布志名、湯町、林、玉造一部、大谷一部)
<玉湯町>	長谷川 紀美子(奈良県北葛城郡) 中曾 暁尚(豊能町)
【本庄中校区】	
本庄小	(手角町、長海町、野原町、枕木町、邑生町、新庄町、上宇部尾町、本庄町、上本庄町一部)
<上宇部尾町>	内田 美二(伊丹市)
<上本庄町>	松本 育郎(堺市) 松本 耕司(枚方市) 松本明夫(伊丹市) 松本芳樹(豊中市)
<新庄町>	寺前 澄子(高槻市)
<手角町>	北林 栄(堺市) 田部 拓生(奈良市)
<本庄町>	面白 紘(橿原市) 坪倉 司郎(川西市) 山内 和美(吹田市) 三代 雅樹(加古川市)
<枕木町>	木島 光子(大津市)

校区／出身町	通学区域・町名／会員氏名
【美保関中校区】	○平成7年4月1日 美保関北中学校 + 美保関南中学校 ⇒ 美保関中学校 美保関小 (美保関町) ○平成13年4月1日 美保関小学校+森山小学校+福浦小学校⇒美保関東小学校 ○平成13年4月1日 七類小学校+片江小学校⇒美保関北小学校 ○平成18年4月1日 美保関東小学校+千酌小学校+美保関北小学校⇒美保関小学校
<美保関町>	愛田 幾也(神戸市) 梅木 隆志(大阪市)
【八雲中校区】	八雲小 (八雲町)
<八雲町>	石倉 文行(豊中市) 藤田 宏(堺市) 藪田 とし江(大阪市)
【八束学園校区】	○平成23年1月1日 小中一貫教育校として発足 八束学園 (八束町)
<八束町>	岩田 太(神戸市) 門脇 基(茨木市) 門脇 幸夫(大阪市) 川原 ひろ子(豊中市) 河野 宗子(草津市) 高瀬 保子(豊能町) 高橋 小梅(東大阪市) 竹谷 奨(大阪市) 坪山 孝美(宝塚市) 福屋 篤子(豊中市) 松本 悟(大東市) 門脇 充人(大阪市)
【東出雲中校区】	○平成23年8月1日 八束郡から松江市に合併 出雲郷小 (出雲郷地区) 揖屋小 (揖屋地区) 意東小 (意東地区)
<東出雲町>	萩野 貫悟(吹田市)

■【松江市外出身の会員】

<安来市>	石田 裕子(大阪市) 京嶋喜久子(松江市) 浦 晴子(吹田市)
<広瀬町>	荒銀 昌治(西宮市) 森藤 哲章(橿原市)
<出雲市>	竹内 一郎(大阪市) 鳥屋尾 勇(大阪市)
<雲南市>	佐藤 徹志(大阪市)
<温泉津町>	林 邦幸(京都市)
<浜田市>	北島 幸子(豊中市)
<京都市>	小川 ますみ(京都市)
<明石市>	小松 雅子(明石市) 藤原 浩子(三木市)
<姫路市>	山本 達郎(姫路市)
<呉市>	菊田 チェミ(明石市)

■【名誉会員】

<大阪市>	三林 京子(大阪市)
-------	------------

近畿松江会会則

【名 称】

第1条：本会の名称は、「近畿松江会」（以下「本会」という）とする。

【会 員】

第2条：本会の会員は、近畿地区及びその近接地に在住する松江市域出身者並びに縁故のある者とする。

【目 的】

第3条：本会は、会員相互の親睦を図り、あわせて郷土の発展と活性化に積極的に参加・貢献することを目的とする。

【事務局】

第4条：本会は、事務局を事務局長の勤務先に置く。

【事 業】

第5条：本会は目的達成のため次のことを行う。

- 1 会報及び会員名簿の発行
- 2 親睦会等の開催
- 3 その他本会の目的達成に必要な事業

【役 員】

第6条：本会に次の役員を置く。

- | | | | |
|---|---|-------|-----|
| 1 | 会 | 長 | 1名 |
| 2 | 副 | 会 長 | 2名 |
| 3 | 幹 | 事 長 | 1名 |
| 4 | 副 | 幹 事 長 | 1名 |
| 5 | 事 | 務 局 長 | 1名 |
| 6 | 常 | 任 幹 事 | 若干名 |
| 7 | 幹 | 事 | 若干名 |
| 8 | 監 | 事 | 2名 |
| 9 | 顧 | 問、相談役 | 若干名 |

【役員を選任】

第7条：役員は次の通り選出する。

- 1 会長、副会長及び幹事長は役員相互の互選とし、総会で承認する。
- 2 事務局長及び常任幹事、幹事は会長が委嘱する。
- 3 監事は総会で選出する。
- 4 顧問、相談役は、会長が指名し、役員会の議決を経て、総会で承認する。

【役員職務】

第8条：役員職務は次の通りとする。

- 1 会長は、本会を代表し、その会務を総理する。
- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故のあったときは、その職務を代行する。
- 3 幹事長は、会長の指示を受けて、会務の運営・執行にあたる。
- 4 副幹事長は、幹事長を補佐し、幹事長に事故のあったときは、その職務を代行する。

- 5 事務局長は、会長の指示をうけて、会務の推進を図る。
- 6 常任幹事は、行事担当幹事、会報担当幹事、地域担当幹事として幹事長を補佐する。
- 7 幹事は、会務を補佐する。
- 8 監事は、本会の会計、会務の執行につき監査し、総会にその結果を報告する。
- 9 顧問、相談役は、役員会の諮問に応じ、会務について意見を具申する。

【役員任期】

第9条：役員任期は2年とする。但し、再任は妨げない。

【総会】

第10条：総会は次の通りの要綱にて開催する。

- 1 総会は、会長が招集する。
- 2 総会は、本会の最高意思決定機関であり、会務の報告、決算の報告、決算の承認、役員等の承認、会則の改正、その他本会の目的達成に必要な事項の審議を行う。
- 3 総会は、年1回の開催とする。但し、役員会が必要と認めたとき、または3分の1以上の会員から請求があったときは、臨時総会を開くことが出来る。
- 4 総会の議長は、会長が務める。
- 5 総会の議決は、総出席者の過半数による。可否同数の場合は議長がこれを決する。

【役員会】

第11条：役員会は次の通りの要綱にて開催する。

- 1 役員会は、会長、副会長、幹事長および副幹事長、事務局長、常任幹事、監事、顧問、相談役を以って構成する。
- 2 役員会は、会長が招集し、議長を務める。
- 3 役員会は、本会の執行機関であり必要な事項を協議、議決し本会の運営、事業の執行などにあたる。

【加入及び脱退】

第12条：本会の加入及び脱退は次の通りの手続きにより行うものとする。

- 1 本会に加入しようとする者は、所定の様式により会費を添えて申込むものとする。
- 2 本会を脱退しようとする者は、文書により会長に申し出るものとする。但し、3期間継続して会費の納入がないときは、退会したものとみなす。

【会計】

第13条：本会の会計は次の通り運営する。

- 1 本会の経費は、会費及び寄附金その他を以って充てる。
- 2 本会の会費は、年額3,000円とする。
- 3 本会の会計年度は、毎年1月1日に始まり、12月31日に終わる。

【雑則】

第14条：本会を解散並びに本会則に定めなき事項若しくは疑義が生じた場合は、全会員の3分の2以上の賛成を得なければならない。

【附則】

- 1 本会会則は平成18年10月22日より実施する。
- 2 平成21年5月15日改正。

近畿松江会創設 10 周年おめでとうございます



出雲そばと名物鴨南蛮「八雲庵」

城下町の面影を残す塩見縄手。松江城のお堀、裏山の竹林、松や茶室のある庭と池の鯉、そして店主が毎日一途に気持ちを込めて打つ本格手打ち出雲そばが、故郷のよき風情として皆様の心に刻まれますよう…皆様のご来店を心よりお待ちしております。

出雲そば処 八雲庵

〒690-0888 島根県松江市塩見縄手 308 TEL 0852-22-2400 FAX 0852-31-7210

営業時間 10:00～15:00 (ラストオーダー) ※おそばが無くなり次第終了させていただく場合もございます。

年中無休 (1月1日、2日を除く)

心和む風景と四季の味覚「おもい川」

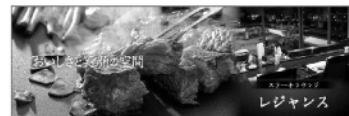
宍道湖に沈む夕日と松江大橋。故郷が誇る絶景と共に、城下町松江が育んだ繊細な味覚を五つの専門店でご堪能いただけます。1名様でも気軽にご利用いただけるカウンター席、2名様より最大34名様対応のお座敷、BARで過ごす大人の時間。ご家族、ご友人との憩いのひとときから大切なお客様へのご接待まで、シーンに合わせてご利用くださいませ。



懐石・天麩羅 おもい川 (2～4F)
昼 11:30～13:30 (ラストオーダー)
夜 17:30～20:30 (ラストオーダー)



寿司割烹 利久 (1F)
昼 11:30～13:30 (ラストオーダー)
夜 17:30～22:30 (ラストオーダー)



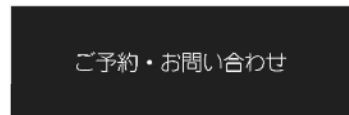
ステーキラウンジ レジャンス (2F)
昼 11:30～13:30 (ラストオーダー)
夜 17:30～21:00 (ラストオーダー)



酒房 松江くらぶ (1階)
営業時間 18:00～24:00
定休日 土曜・日曜・祝日



バーラウンジ ばく (5階)
営業時間 18:00～24:00
定休日 日曜・祝日

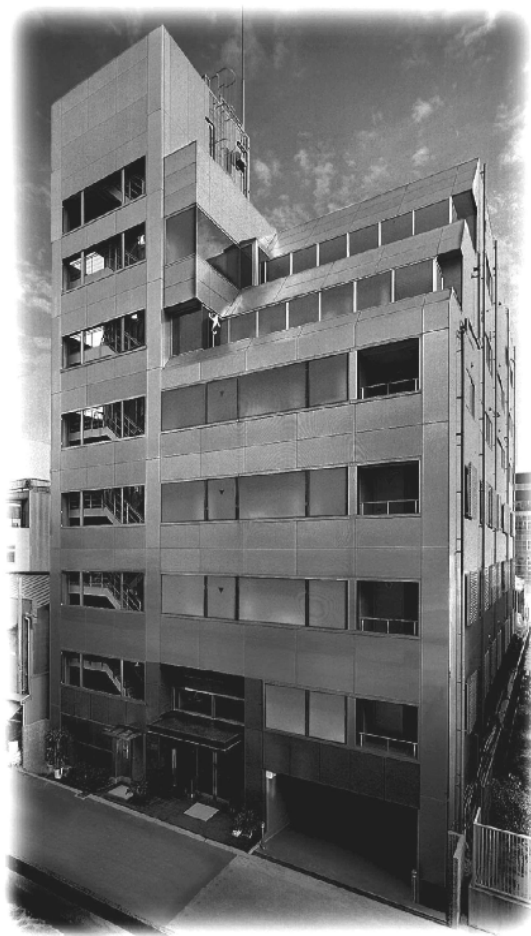


ご予約・お問い合わせ

〒690-0842 島根県松江市東本町1-5
TEL 0852-21-2941/0852-31-3951



鉄道車両用、船用、電気部品の製作



株式会社
トヨーコーポレーション
TOYO & ENGINEERING CORP.

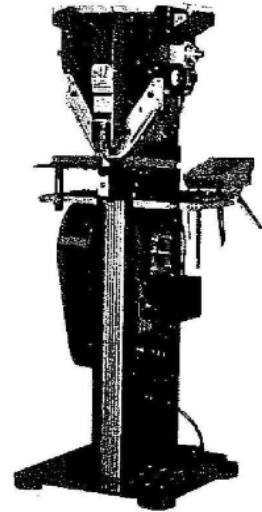
高 7期(昭和31卒) 山本雅昭

本社/〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-21-35 ザ・ファーストビル Tel.06-6443-2061 Fax.06-6443-9736
豊中工場 / 東京支店

<http://www.toyocorp.co.jp> ※製品カタログのご請求は2F管理課まで

自動ホック打機 TM—200V

累積生産台数 8,000 台を誇る
伝統を持つ代表機種 TM—200 をベースに
プラスチックホック専用機種として、世界に
先駆けて開発



プラスチックホック

ベビーウェア及び各種アパレル製品に最適な
軽くてソフトな肌触りのプラスチックホック



プラスチックホック・精密機械製造販売

精密金型 設計・製作

武 田 精 機 株 式 会 社

TAKEDA SEIKI CO., LTD

代表取締役 武田 精

本 社

〒581-0041

大阪府八尾市北木の本

1丁目12番地

TEL : 072 (923) 5181

FAX : 072 (923) 5186

大阪営業所

〒541-0056

大阪府中央区久太郎町

1丁目8-11

TEL : 06 (4705) 7500

FAX : 06 (4705) 7433

三重工場

〒518-1155

三重県伊賀市治田

字大沢3090-23

TEL : 0595 (20) 9051

FAX : 0595 (20) 9052


 株式会社 **はーとケアグループ**
 代表取締役 **下田 弘子**
 (京都島根県人会 副会長兼事務局長)

私達は
 皆様の笑顔が輝くように
 真心でサポートします

健康 **介護**

〒607-8162 京都市山科区柳辻草海道12-7 タケナカビル5階
 TEL: 075-583-2611 FAX: 075-592-1022


 株式会社川商
リバティーいちご

LIBERTY

管理者 **若松 ひろ子**
 〒542-0081
 大阪市中央区南船場3丁目1-7
 日宝東心斎橋ビル6階1号
 TEL: 06-6281-3722
 FAX: 06-6281-3723

エニフォームはレンタルの時代へ!!
HANSHIN 阪神ユニフォーム販売 有限会社
 www.hanshin-uniform.jp

東北1000プロジェクト
 Reconstruction 1000 Project
 for Tohoku / www.soboku1000.jp

復興支援活動を応援します

本社 〒540-0021 大阪市中央区大手通2-3-17
 TEL: 06-6943-6990 FAX: 06-6943-6980
 E-mail: hanshin@hanshin-uniform.jp
 奈良営業所 〒631-0846 奈良市平松町4-6-1
 TEL: 0742-51-8226 FAX: 0742-44-4623
 北大阪営業所 〒569-08031 高槻市高槻町15-5
 TEL: 072-690-1787 FAX: 072-646-6817

~あなたの勇気がいのちを救う~ (心肺蘇生法とAEDの活用の普及)
特定非営利活動法人 大阪ライフサポート協会

参与 **松本 耕司**
 Koji Matsumoto

〒533-0033
 大阪市東淀川区東中島1-17-5 ステディオ新大阪 416号
 [TEL] 06-6370-5883 [FAX] 06-6370-5884
 [URL] http://osakalifesupport.jp
 [E-mail] osakalsa@comet.ocn.ne.jp

島根大根島 だいこんじま
ほうふう
天ぷらに 茶碗むし
お吸い物に。

松江市八束町波入2040番地
 JAくにびき はまぼうふう生産組合
 電話0852-76-2525

日本料理
松江和久
 Japanese Traditional Restaurant
 松江駅北口から徒歩5分
 松江市御手船場町565
 Tel 0852-21-0029
 女将 吉岡 朋子

営業時間 11:30~14:00
 17:30~22:00

早坂誠◎原作
夢千代日記

前座座初春特別公演 四條南座
 二〇一六年一月一〇日(月)~一九日(火)
 前座座京都営業所
 ☎075(561)6300

夢千代◎今村文美

島根県人の溜り場
活旬 だいます
大根

大阪市天王寺区玉造元町三二
 電話 06-6768-9767
 代表取締役 鳥屋尾 勇
 (出雲市出身)

松江商工会議所

TEL	松江市母衣町五五一六	副会長 鶴	副会長 兒	副会長 有	副会長 田	会長 古
		副会長 鶴	副会長 玉	副会長 澤	副会長 江	副会長 瀬
			副会長 泰	副会長 泰		
			副会長 順	副会長 州	副会長 寛	副会長 彦
						副会長 誠

祝 松江城国宝決定！




(一社)松江観光協会 水の都松江 検索
TEL:0852-27-5843 FAX:0852-26-6869

関乃五本松節保存会

会長 鶴 修一

審査部長 三角 邦男

〒690-1501 松江市美保関町美保関661

TEL 0852-73-9001
FAX 0852-73-9005

山陰合同銀行 大阪支店

支店長 佐藤 徹志

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町四丁目一番三号
(大阪センタービル二階)

TEL 〇六(六二五二) 五四〇〇
FAX 〇六(六二五二) 五四一〇

佐和田登記測量事務所(松江市)顧問
遺島使 縁結び相談ボランティア

佐和田 丸

〒573-1182 大阪府枚方市御殿山町11-33-610
大阪府枚方市御殿山町11-33-610

電話・Fax 072-848-7417 e-mail : malu122@nifty.com
HP <http://simane.do47.net/kadoya.html>

以下縁結びコーナー お相手募集中 自薦他薦不問

- ・ 本人1979年生男性 大学院終了 炭木市内神社跡取
- ・ 本人1965年生男性 阪大薬卒業薬剤師 松江市内薬局勤務 土地家屋調査士
- ・ 本人1972年生女性 岡山大経卒 ライター 関西在住者希望

山川・朝夕 本舗

風流堂

本店 〒690-0061 松江市白濁本町15
TEL 0852-21-2344 風流堂 検索

株式会社高速オフセット

渡 辺 悟

(近畿松江会常任幹事)

〒530-0001

大阪市北区梅田3-4-5

毎日新聞ビル6階

TEL 06-6346-2801

FAX 06-6346-2801



株式会社 エルム不動産

代表取締役 **木村 恵吉**

KeiKichi Kimura

宅地建物取引主任 大阪第091986号

〒532-0003 大阪市淀川区宮原2丁目12番14-207号室

TEL.(06)4807-7676 FAX.(06)4807-7677

携帯 080-3108-3330

中ゲタ(株)

代表取締役 篠 木 豊 (松江市西尾町出身)

本 社 〒530-0043 大阪市北区天満3丁目2-9

電話 (06) 6351-7201

FAX (06) 6351-7203



北新地

フ ロ ー ラ

(前 島根クラブ青戸) 青戸保枝

ウィスキー飲み放題 5,000円

☆ **ママ手製のカレーライスもどうぞ** ☆

〒530-0002 大阪市北区曾根崎新地1-11-20
(大阪駅第3前ビル向い) ハットボーイビル7F
TEL 06-6344-7910 携帯 090-3623-2479



会員制 **カラオケラウンジ開放 (午後1時~5時)**

金: 飲物・軽食付 女性 **2,000円** 男性 **3,000円**

土・日・祭日貸切料金 **3,000円 (要予約)**

近畿松江会

常任幹事兼ゴルフ担当 **井上 隆吉**
副幹事長 **井上 芳子**

〒569-1147

高槻市土室町23-4

TEL・FAX 072-696-7334

TAトータルプランニング 「お墓のコンサルタント」

お墓の^{いってん}移転から^{こんりゅう}建立・^{ほまいほう}墓理法に関する
こと等なんでもご相談に応じます

代 表 ^{たけ}竹 ^{たに}谷 ^{すすむ} 奨

〒543-0014 大阪市天王寺区玉造元町2-34

TEL 090-3054-9159

Email : osktake@ff.iij4u.or.jp

近畿松江会

顧問 荻田 運三郎

〒674-0074

明石市魚住町清水2249-5

TEL・FAX 078-943-1500

近畿松江会

会長 伊藤 征治

〒631-0837

奈良市若葉台1-3-2

TEL・FAX 0742-46-5649

近畿松江会

副会長 有田 嵩

〒572-0042

寝屋川市東大和町23-4

TEL・FAX 072-826-0151



不動産コンサルティング 売買 賃貸 管理
有限会社 エクスパートナース

不動産のことならお気軽にご相談ください

代表取締役

うち べ しげる
内部 茂

〒531-0075 大阪府大阪市北区大淀南1-4-18 (梅田スカイビル向い)

TEL : 06-6452-5581

FAX : 06-6452-5455

URL : <http://www.eks-p.com>

E-mail : info@eks-p.com

事務局から“お知らせ”

近畿松江会にご支援・ご協力いただきありがとうございます。

今年度は近畿松江会創立10周年記念大会として総会・懇親会を開催致しました。

参加者は創立時をしのぐ人数となりました。今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます

現在会員総名簿数は275名、入退を重ね169名となっています。また、役員としてお世話いただいた方々も創立時18名から、延べ39名、現在は19名です。会員の皆様も是非役員の一端を担っていただけることを願っています。

さて、次回以後の総会・懇親会について多くの方より「バスツアー」での同時開催には参加しにくい、大阪での開催には是非参加したいとのお声が寄せられています。

役員会に諮った結果、平成28年度も大阪での開催、「ツアー」は別企画を図ることといたしました。年末にお送りする年会費お納めの際には日時をお知らせしますのでご予約下さい。

< 編集後記 >

小学校の遠足で、木組みの足場でぐるぐる巻きにされた松江城を見た記憶があります。調べてみると昭和25年から30年まで昭和の大修理があったとありますから60年前の記憶でした。その松江城天守が遂に国宝に、記憶は個人的にもとても嬉しい思い出に昇格しました。

近畿松江会も遂に10年・・・、鑿行列の御堂筋パレードを応援したり、ホーランエンヤを見に松江に帰ったり、そして今回のご褒美とも考えたい国宝化と、長いようで短い、短いようで長い10年でした。それもこれも歴代の会長、役員、そして何よりも支えていただいた会員皆様のお蔭と厚く御礼申し上げます。

そんな思いもあって、この会報は10周年記念号とし、皆様の中に色々な思い出が甦ればいいなと勝手ながら考え、この間の記録にも意を注いで編集しました。お手元で何かのお役に立てれば真に幸いです。

ご寄稿いただきました皆様には厚く御礼を申し上げます。また、いつものことながら最後のまとめはすべて竹谷幹事長のお力によるものであることに感謝を申し上げて、編集後記とさせていただきます。

8月25日 広報担当 松本耕司(上本庄町)

近畿松江会創立10周年記念会報（第8号）

■発行：平成27年9月(2015年)

■発行者：近畿松江会 〒543-0014 大阪市天王寺区玉造元町2-34 竹谷設計事務所内

TEL:090-3054-9159 FAX:06-6221-5741 E-mail: osktake@ff.ijj4u.or.jp

■印刷・製本：株式会社 大一洋紙 〒537-0012 大阪市東成区大今里1-1-25

TEL:06-6978-2577 FAX:06-6978-2588

表紙について

国宝松江城天守（別名千鳥城）

- ☆慶長 12 年～16 年（1607～1611 年）堀尾吉晴が孫の忠晴を助け築城
- ☆明治 8 年廃城令により諸建物と三の丸御殿を民間に払い下げることし、ことごとく取り壊される
天守は 180 円で落札されたが、出東村の勝部本右衛門、高城権八らにより資金調達、買い戻され取り壊しは中止、保存されることとなる（当時 米一俵が約 3 円）
- ☆昭和 10 年（1935 年）「国宝保存法」により国宝に指定
- ☆昭和 25 年（1950 年）5 月 「文化財保存法」制定により重要文化財となる
- ☆平成 27 年（2015 年）5 月 15 日 国宝に指定するよう文部科学大臣に答申される
- ☆平成 27 年（2015 年）7 月 8 日 国宝に指定

2015年5月16日

日本経済新聞



松江城は戦前は国宝だったが、文化財保護法施行時には重要文化財とされていた（松江市）

文化審議会（宮田登会長）は15日、江戸時代初めの61年に築かれた松江城天守（松江市）を国に、現在は東京国立近代美術館の旧朝宮邸（東京・港）ならびに重要文化財に指定するよう、文部科学大臣に答申した。現在の文化財保護法にも天守の国宝指定は63年ぶり例目となる。

松江城天守 国宝に 重文に旧朝香宮邸など

文化審が答申

また、江戸時代の幕藩の形を残す甲州市塩山（山梨）下小田原上各地区（山梨）の重要伝統的建造物群保存地区に指定するよう求めた。近く答申通り、課の技師らが邸を設計し、戦後は田茂の外、両願門なども、神奈川県川崎市の相模川（川崎稲穂町）▽中村家住宅（梨園用州市）

「千鳥」思わす優美な姿
出雲・隠岐の領主だった堀尾氏も1607年、各地の平定を目的に15の城を築いた。松江城は、山陰で唯一、天守が現存する平山城。城郭が現存する数少ない「大山市」、大山市（現鳥取県大子町）で、表裏を想定した造りや優美な姿が特徴だ。戦前は国宝だったが、風景都市で、ほかは重文に指定された。1950年の文化財保護法施行時には重要文化財とされている。松江城を所有する松江千鳥が羽を広げたと見、財とされた。当時、修復市などは国宝指定を希望する。千鳥の根柢（根柢）は、工事だったことが、進め、2012年には1

天守5例目、63年ぶり

61年の風情がある新橋（きょうし）社を築いた。園からの補助金は、国宝と重要文化財で同じだが、地元は観光資源としての価値の高まりを期待する。松江市の松江城文化推進室の部長吉野博史は「非常に感謝している。保全と活用としての価値を高める」との両立に取り組むたい」と話している。

松江藩歴代藩主

- ☆堀尾氏
慶長 5 年（1600）～寛永 10 年（1633）
【吉晴－忠氏－忠晴】24 万石
- ☆京極氏
寛永 11 年（1634）～寛永 14 年（1637）
【忠高】26 万 4 千石
- ☆松平氏
寛永 15 年（1638）～明治 4 年（1871）
【直政－10 代定安】18 万 6 千石